

You,
Unlimited



龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

2019年4月入学

龍谷大学

外国人留学生入学試験要項

RYUKOKU UNIVERSITY

ADMISSION GUIDE FOR INTERNATIONAL STUDENTS

FOR ENTRY IN APRIL 2019

目 次

龍谷大学	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
募集人員		8
共通事項	■ 出願書類	9
	■ 出願書類送付先	9
	■ 受験料・納入方法	9
	■ 感染症（インフルエンザ等）による受験料返還について	10
	■ 合格発表	10
	■ 入学手続	10
	■ 授業料等返還制度	11
	■ 注意事項	11
	■ 外国人留学生再入学試験について	11
入学試験要項	■ 正規留学生 大学・短期大学部 1 年次入学試験	12
	■ 正規留学生 3 年次編転入学試験	16
	■ 正規留学生 大学院入学試験	
	・全 研 究 科 学科試験方式	19
	・経済学研究科 書類審査方式	24
	・社会学研究科・国際学研究科 書類審査方式	26
	■ 特別留学生 入学試験	
	・学科試験方式	30
	・大学院社会学研究科 書類審査方式	32
学費・諸会費		35
奨学金制度について		41
お問い合わせ先一覧		42

大 学 案 内

1639年に創立された龍谷大学は日本で最も伝統ある大学のひとつであり、現在3つのキャンパスに9学部、10研究科および短期大学部、留学生別科を擁する総合大学です。約20,000名の学生のうち留学生は約500名です。特に国際学部では1学年に30名の留学生定員を設け、積極的に留学生を受け入れています。また創立以来の歴史と伝統に加え、革新的材料・プロセス研究センター、古典籍デジタルアーカイブ研究センターなど、最先端の研究施設を設置し、広い視野をもつ国際人の養成につとめています。

奨学金・授業料減免（40%減免）

龍谷大学外国人（留学生）学費援助奨学金制度（授業料の40%減免）を実施しています。このほか本学独自の奨学金、文部科学省、地方自治体、民間団体等の各種奨学金に応募することができます（詳細は41ページを参照してください）。

在留資格認定証明書の代理申請

現在、国外在住の出願者で、経費支弁者や親族などの代理人が日本国内にいない場合、経費の自己負担が可能であり、所定の証明書にてそのことを証明できる正規留学生（特別留学生は不可）の場合に限り、大学が1回のみ代理申請します（詳細は別冊「入国・在留資格に関する手続」を参照してください）。

留学生宿舍

現在本学の留学生宿舍は4か所あり約200人が入居できます。これらの宿舍には日本人の学生がアドバイザーとして入居し、生活・学習などについて助言しています。留学生宿舍の入居申込書は合格通知書に同封します。

外国人留学生の在留資格について

本学の外国人留学生が、龍谷大学外国人（留学生）学費援助奨学金等を申請するためには「出入国管理及び難民認定法」における「留学」の在留資格を有する必要があります。その他の在留資格（「日本人の配偶者等」「定住者」など）により滞在する場合は、龍谷大学外国人（留学生）学費援助奨学金、留学生対象奨学金（学習奨励費）等を受けられませんのでご注意ください。

■龍谷大学 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

龍谷大学は、建学の精神（浄土真宗の精神）に基づいて、「平等」、「自立」、「内省」、「感謝」、「平和」の意味を深く理解し、豊かな人間性と共生（ともいき）の精神を涵養するとともに、人間教育、教養教育、専門教育を通じて、「広い学識」と「進取の精神」を持って人類社会に貢献する人間を育成することを「教育にかかるとして掲げています。この基本方針に基づき、次の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を掲げています。

龍谷大学の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）は、価値観が多様化する社会において、本学の建学の精神を体現するための意欲と各学部での教育に必要な適性を有した学生を、幅広く受け入れることを基本とします。

各学部は、龍谷大学の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）のもと、各学部それぞれの学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針に基づき、各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を定めるとともに、各入学試験を設定しています。

■各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

○文学部

文学部では、建学の精神に基づいて、人文学の知的体系の研究・教授を通じ、現代社会の複雑な変化や諸問題に、自己を見失うことなく積極的・主体的に対応しつつ、社会に貢献できる教養及び専門性を備えた人の育成を目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 文学部の教育理念や目的を十分に理解している人
- 2) 明確な目的意識と学修意欲とを持った人
- 3) 人文学の基盤となる「言葉」に対する鋭い感覚と正しい理解、そして豊かな運用能力のさらなる向上をめざして努力することのできる人

○経済学部

経済学部では、21世紀初頭において日本と世界の経済が大きな転換期を迎えるなかで、経済のグローバル化、情報化、地域経済の役割の増大などといった現代社会が直面する課題に対応できるような人の育成を目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 社会に対する幅広い関心を持ち、主体的に学修できる人
- 2) 様々なツールを用いて、自己を豊かに表現する能力をもった人
- 3) 新たな問題を発見し、その解決に自ら進んで取り組む人

○経営学部

経営学部では、学生のそれぞれの学修目標にあわせて、少人数の演習学修と、理論と実践を組み合わせたカリキュラムを提供することによって、変化の激しい時代に対応でき、社会から信頼される経営人（働くことを通じて社会に貢献する人材）を育成することを目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 明確な目的意識と学修意欲をもった人
- 2) さまざまな場面で基本的な能力として求められるコミュニケーション能力をもった人
- 3) 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む人

○法学部

法学部では、日本国憲法の理念を基礎に、法学と政治学の教育・研究を通じて、広い教養と専門的な知識をもって主体的に行動し、鋭い人権感覚と正義感のもとに自ら発見した問題を社会と連携して解決できる、自立的な市民の育成を目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 現代社会に生起する諸問題に広く関心を有するとともに、その解決に取り組む意欲を有する人
- 2) 問題を論理的に分析する能力や、自らの意見を論理的に表明する能力を有する人
- 3) 自ら問題を発見し、それについて自ら考え、行動する能力を有する人

○政策学部

政策学部では、幅広い教養と専門的な知識を身につけて社会の持続可能な発展のために行動し、協働型社会を担うために必要な公共性と市民性を持ち、国際的な視点から政策を提案し実行する能力を備えた人の育成をめざしています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 人文・社会・自然科学の領域について幅広い関心を持ち、総合的な観点から現代社会の課題解決に取り組む意欲を持っている人

- 2) 国際的な視点から都市問題、環境問題などの地域社会の課題を解決することに関心を持っている人
- 3) 協働型社会を支える公共性と市民性を学ぶ意欲を持ち、政策立案と実施能力を備えた専門的職業人となるために勉学に取り組む人

○国際学部

国際学部では、異文化への理解を深めるとともに、自文化についての発信力を養い、グローバル化が加速する時代において、柔軟な思考と批判的精神をもって対応できるコミュニケーション能力、問題解決能力及び倫理観を備えた人間の育成を目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) グローバル化が加速する時代の動向に強い関心と好奇心を有し、学部の教育理念を深く理解し、強い意欲をもって学んでいこうとする人
- 2) 異文化に対して寛容かつ柔軟に対応でき、国際的に貢献したいという明確な目的意識をもった人
- 3) 英語をはじめとする外国語の能力が高く、さらなる向上を目指す人

したがって、高等学校等での学習では、入学までに必要な基礎学力として、様々なコミュニケーションを行う上での基本ツールとなる英語、国語を中心として、国際学部で教育を受ける上で基本となる地理・歴史等、社会や文化に関連する科目を幅広く勉強し、併せて日頃から国内外の社会の動向に関心を持つことを望みます。

○国際学部国際文化学科（3年次編転入学）

国際学部では、異文化への理解を深めるとともに、自文化についての発信力を養い、グローバル化が加速する時代において、柔軟な思考と批判的精神をもって対応できるコミュニケーション能力、問題解決能力及び倫理観を備えた人間の育成を目指しています。

そのため、3年次編入学・転入学にあたって、次のような人が入学することを求めています。

- 1) グローバル化が加速する時代の動向に強い関心と好奇心を有し、学部の教育理念を深く理解し、強い意欲をもって学んでいこうとする人
- 2) 異文化に対して寛容かつ柔軟に対応でき、国際的に貢献したいという明確な目的意識をもった人
- 3) 英語をはじめとする外国語の能力が高く、さらなる向上を目指す人
- 4) 国際学部2年次修了に相当する学業をすでに修めた人

○理工学部

理工学部では、現代の自然科学を代表するキーワードである「情報」「システム」「エネルギー」「材料・物質」「環境」に対応し、人間と地球環境に調和した科学・技術の発展を支える6学科で構成されています。それぞれの学科において、最新の理学と工学を融合させることにより、新しい視点に立った学問の道を開き、時代の要請にかなった先端技術の発展に寄与しうる人材の育成を目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 広い分野にわたり基礎学力に優れ、科学的センスを持っている人
- 2) 明確な目的意識と勉学意欲を持っている人
- 3) 知的好奇心や自然科学への関心を持っている人

○社会学部

社会学部では、社会を単なる人と人との結びつきと捉えるだけでなく、社会と環境との結びつきをも重視する必要があると考え、社会や地域における多様な関係を尊重する教育理念を掲げています。このような理念のもと、IT化、グローバル化、少子高齢化など急速な社会変化によって生じる現代社会の諸課題に対して、創造的に対応できる知識や専門的能力、問題解決能力を持った人の育成をめざしています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 現代社会に関して幅広く関心をもち、社会学部の教育理念を深く理解し、明確な目的意識をもって勉学に取り組む人
- 2) 社会や地域に生起する諸問題を分析し、その解決を図る方法について考察する能力をもった人（社会学科・コミュニティマネジメント学科）
- 3) 社会福祉に関心をもち、社会福祉専門職としての支援や、地域・企業・学校などさまざまな領域での社会貢献活動に意欲をもつ人（現代福祉学科）

○農学部

生命・資源・食料・経済 ～未来への持続可能な農業をめざして～

農学部の教育は、自然科学の領域だけでなく、人文・社会科学の領域や食品栄養学の領域を含む、幅広い分野の教育を、融合的に行うことをめざしています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) これら「食」と「農」を支える領域への幅広い興味と、農学への強い意欲をもっている人
- 2) 農学の教育を行うにあたって、自然科学と社会科学に関心があり、関連する実習や実験をやり遂げる意思と能力をもった人

については、高等学校等での学習では、農学部で教育を受ける上で基本となる高校での教科を幅広く基礎的事項についてしっかり勉強することを望みます。

〈植物生命科学科〉

本学科では、農業の基礎となる農作物の生育や変異の仕組みを正しく理解するために、植物を中心とした生命科学領域を学びます。このため、生物学、化学をはじめとする自然科学的基礎学力を習得し、コミュニケーション能力と学びに対する積極性を有している人を求めます。

〈資源生物科学科〉

本学科では、「食の安全・安心」を支える農作物を生産する上で不可欠な技術などを正しく理解するために、農業に直結する自然科学領域を中心に学びます。このため、生物学、化学をはじめとする自然科学的基礎学力を習得し、コミュニケーション能力と学びに対する積極性を有している人を求めます。

〈食品栄養学科〉

本学科は、人の健康維持・増進に役立つ「食」について学びます。また、管理栄養士養成課程であることから、人々の健全な食生活をサポートするために必要な専門的科目を中心に学びます。このため、生物学、化学をはじめとする自然科学的基礎学力を習得し、コミュニケーション能力と学びに対する積極性を有している人を求めます。

〈食料農業システム学科〉

本学科では「食」と「農」に関わる問題を、単なる技術的な問題ではなく、「社会や経済の仕組みの問題」として正しく理解し、その解決方法を検討・考察するために「食と農に関わる社会科学」を中心に学びます。文系科目の基礎学力がある人、もしくは理系科目の基礎学力がある人の双方を希望します。また、「食」と「農」に関わる国内外の社会問題・経済問題を学ぶためには、農業の現場においてフィールドワークを行うことが重要な意味をもっています。コミュニケーション能力と学びに対する積極性を有している人を求めます。

○短期大学部

〈社会福祉学科〉

社会福祉学科では、講義や演習だけでなく、社会福祉施設等における実習教育など、実社会での実践的・体験的な学びを重視しています。そのような学びの中で、豊かな人間性、共生（ともいき）の精神、広い学識、進取の精神、福祉全般にわたる基礎的教養、専門的知識、実践的能力を身に付けた人の育成を目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 読み書きなどの基礎的な学力を確実に身につけた人
- 2) 行動力や主体的に学ぶ姿勢、社会性、多様な立場の人たちとコミュニケーションをとる力、体験をとおして多くのことを感じ取るための鋭い感性、そして、体験をとおして感じたことを整理する力、つまり思考力や文章力など、実践的・体験的な学習に必要な力をもった人
- 3) ディスカッションを行う能力や、ディスカッションをとおして多様な考え方があることを知り、多様な考え方から多様なことを柔軟に学び取る能力をもった人
- 4) 短期大学部の教育理念を深く理解し、明確な目的意識と勉学意欲をもった人

については、高等学校等の学習では、コミュニケーションを行う上での基本ツールとなる国語、英語を中心として幅広く教科を勉強し、基礎的な学力を確実に身につけるとともに、入学までにさまざまな体験に積極的にチャレンジし、明確な目的意識を形成し、体験をとおしてさまざまなことを学び取ることに慣れておくことを望みます。

〈こども教育学科〉

次代における保育・幼児教育の専門職養成をめざす、こども教育学科のアドミッションポリシーは、その目的達成のために以下の3点の適性を重視して入学者の選抜を行う。

- 1) 教育の前提であり、保育・幼児教育の専門職となるための適性として、一定程度の国語力（読む・書く・話す等、言語的なコミュニケーションの力）を有する者であること。
- 2) 専門職となるための適性として、相応の生活経験（掃除、調理や洗濯等の家事遂行の経験等）を有する者であること。
- 3) 保育・幼児教育現場の特性に考慮し、一定程度の臨機応変な対応能力（即興で課題に取り組む意欲や機転、発想力等）を有する者であること。

○文学研究科

文学研究科では、建学の精神に基づき、各専攻領域に関わる文献資料・史料に依拠し、確固たる基礎学力を養成する。また本学の豊富な蔵書と、専攻ごとに設置された合同研究室を研究拠点として独創的かつ精緻な研究を継承発展させ、自立して研究活動を行うのに必要な高度な研究能力、又は高度の専門性を要する職業等に必要能力を培う。これらの学力と能力を基礎として、さらに進んで学術の振興と文化の発展に寄与することを目指している。

また、本学を含む京都地区の宗教系大学の大学院が構成する「京都・宗教系大学院連合」の履修を通じて単位互換を実施している。また修士課程・博士後期課程ともに社会人入試を実施し、広く社会的要請にも応えている。

〈修士課程〉

修士課程では、広い視野に立って豊かな学識を身に付け、各専攻の学術の基本を修得した上で、さらに進んで各専攻分野における基礎的な研究能力を高め、加えて積極的な学術研究への取り組みを通じて、より高度な専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うことを目的とし、洞察力に富んだ人材を養成することを目指している。

- このような観点から、次のような人を求めている。
- 専攻分野に関する基礎的な研究能力をもった人
 - 積極的な学術研究に取り組みたいと考えている人
 - 高度な専門性を活かした社会貢献を目指している人

〈博士後期課程〉

博士後期課程では、各専攻分野において、進取の気概をもって学術研究を推進し、研究者として自立した研究活動に従事することができ、加えて、より高度に専門的な学術業務に従事するのに必要な研究能力、及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目標とし、積極的に学術文化の向上と社会の発展に寄与する人材を養成する。

- このような観点から、次のような人を求めている。
- 研究者として自立した研究能力をもった人
 - 高度な学術専門業務に従事しようと考えている人
 - 積極的に学術文化の向上と社会発展に寄与することを目指している人

○法学研究科

〈修士課程〉

修士課程では、広い視野に立った深い学識と専攻分野における研究能力を育むことを通じて、研究者及び高度の専門性を要する職業人に必要な能力を涵養するという目標に照らして、次のような人を求めている。

- 大学における4年間の学修によって獲得された一般的教養と専門的教養の基礎の上に、さらに深い学識を得て、研究者及び高度の専門性を有する職業人になりたいと考える人
- 専攻分野における研究を進め、高度の専門性を要する職業上の実践にその専門性を発揮したいと考える人
- 世界と地域において協働を育み、共生（ともいき）社会の発展のための理論構築や実践を進めたいと考える人

〈博士後期課程〉

博士後期課程では、専攻分野において自立して研究活動を遂行し、職務を実践することができる研究者及び高度な専門知識を有する専門職業人の養成をめざして、次のような人を求めている。

- 修士課程における学修により培われた深い学識と研究能力を基礎に、専攻分野において自立して研究活動を遂行できる研究者になりたいと考える人
- 専攻分野における研究を進め、高度の専門性を要する職務の実践においてその専門性をいかして、職務上の課題を発見し、問題を解決する能力を獲得したいと考える人
- 現代社会が抱える複雑な諸問題について、その課題を発見、分析、解決し、具体的な解決案を提示して、世界、地域の構成員と協働して、現実の問題を解決することができるようになりたいと考える人

○経済学研究科

〈修士課程〉

修士課程では、研究者に求められる世界に対する理解と理論構築や応用分析の能力を養い、あるいは高度職業人に必要とされる高邁な理想と学問的知識に裏打ちされた実践能力を育てることを目指しており、次のような人を求めている。

- 世界と地域社会の平和と発展に貢献することを志し、受験資格を満たし、強い勉学意欲と、潜在力を持つ人
- 国際水準の研究あるいは高度な実務能力を持つエコノミストたらしめたい人
- 公共的な活動（公的部門・営利部門あるいは非営利部門を問わない）においてリーダーを目指す人
- 活発で刺激的な学習環境をつくるため、経済学既習者以外にも門戸を開き、多様なバックグラウンドを持つ人を歓迎する

〈博士後期課程〉

博士後期課程では、国際水準の研究をおこないうる研究者の養成を通じて、世界と地域社会の平和と発展に貢献することを目的とし、次のような人を求めている。

- 世界と地域社会の平和と発展に貢献する意思のある人
- 世界に対する深い理解を持つ人
- 理論的知識と応用分析の基礎的な能力を持つ人
- 国際水準の研究を実現する潜在力のある人

○経営学研究科

〈修士課程〉

修士課程では、複雑な構造と機能をそなえた現代社会の要請にこたえる専門職業人及び研究者を育成するため、次のような人を求めている。

- アカデミック・コースは、研究者養成を目的とし、以下のような人を求めている。
- 修士課程修了後に博士後期課程に進学し、自立した研究者として経営学の研究を深めていくことをめざしている人
 - 研究を進めていく上で必要な経営学に関する基礎的で全般的な知識を有している人
 - 研究を進めていく上で必要な外国語の能力を有している人

〈博士後期課程〉

博士後期課程では、複雑な構造と機能をそなえた現代社会の要請にこたえる自立した研究者を育成するため、次のような人を求めている。

- 経営学の特定の領域に関する深い専門的知識を有している人
- 研究を進めていく上で必要な外国語の高い能力を有している人
- 自ら研究テーマを設定し、論文として執筆していく能力を有している人

○社会学研究科

◇社会学専攻

〈修士課程〉

修士課程では、複雑で多様な現代社会の諸問題を分析できる社会的な学識と能力を有する専門社会調査士や職業ジャーナリストのような高度専門職業人および研究者を育成することを目的とし、現実社会に対応した研究能力と幅広い実践能力をもつ人材を養成するため、次のような人を求めている。

- 様々な現代社会の諸問題を、社会的視点から研究したいと考えている人
- 社会学理論と社会調査法についての基礎的な知識や能力を有する人
- 社会学理論や社会調査の知識や能力を実践的に活かせる職場への就職、また職業ジャーナリストを目指している人

〈博士後期課程〉

博士後期課程では、高度で創造的研究を行うことのできる自立した研究者を育成することを目的とし、社会学およびジャーナリズム論の研究領域で価値ありと認められる研究成果を生み出す能力を有する人材を養成するため、次のような人を求めている。

- 様々な現代社会の諸問題に関して、修士課程での研究を基盤に、より高度なレベルでの社会的研究に取り組みたいと考えている人
- 社会学理論や社会調査法の理解力と分析能力を有する人
- 大学や研究機関等、高度な研究能力を必要とする職場への就職を目指している人

◇社会福祉学専攻

〈修士課程〉

修士課程では、現代社会における社会福祉学の専門性と実践性を兼ね備えた高度専門職業人および研究者を育成することを目的とし、現実の社会福祉問題に直結した研究能力と幅広い実践能力をもつ人材を養成するため、次のような人を求めている。

- 複雑な社会福祉問題を、社会福祉学的視点から研究したいと考えている人
- 社会福祉学理論と社会福祉実践について基礎的な知識や能力を有する人
- 高度専門職業人として社会福祉学的知識や社会福祉実践についての能力を実践的に活かせる場への就職を目指している人

〈博士後期課程〉

博士後期課程では、社会福祉学の研究方法を身につけ、創造的で自立した研究者を育成することを目的とし、社会福祉問題の分析における高度の研究能力を有する人材を養成するため、次のような人を求めている。

- 様々な社会福祉問題に関して、修士課程での研究を基盤に、より高度なレベルでの社会福祉学的研究に取り組みたいと考えている人
- 社会福祉学理論や社会福祉実践についての理解力と分析能力を有する人
- 大学や研究機関等高度な研究能力を必要とする職場、あるいは専門職業人としての高度な実践能力を必要とする職場への就職を目指している人

○理工学研究科

〈修士課程〉

修士課程では、自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力と専門知識を用いて社会の発展に寄与できる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- 専門領域および周辺領域の基礎知識を充分修得している人
- 専門分野の研究に対し明確な目的意識と強い意欲を持っている人
- 持続的学修を行う習慣を持ち、自己発言能力に優れた人

〈博士後期課程〉

博士後期課程では、修得したさらに高度な専門知識と周辺分野での知識を活用して社会に貢献すると共に、科学技術のあるべき道に導くことができる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- 自立して専門領域の研究活動を積極的に行うことができる人
- 専門分野および周辺分野についての高度の知識を持っている人
- 科学技術の発展に大いに貢献できる研究者を目指している人

○国際学研究科

〈修士課程〉

国際文化学専攻

相互依存が一層著しく進む現在の世界が直面する諸課題に対して、文化という観点から批判的に研究を遂行し、その研究で得られた知見を国際社会のなかで専門的かつ実践的に発揮できる人材を養成する。

そのため、次のような関心・目標等を持った人材を受け入れる。

- 国際的な視点に立脚し、各自の専門性を活かした職業を担うために、国際文化研究の領域において意欲的に研究を進めようとする人
- 日本、共生社会、言語文化、宗教文化、芸術・メディアなどに関するテーマを、国際的な視野に基づく学問の理論と方法論で研究することを目指す人
- 国際社会で自らの専門性や実践能力を示そうと志す人

グローバルスタディーズ専攻

グローバル社会の複雑な諸問題に関して深い問題意識をもって研究を遂行することによって、高い語学力や専門知識だけでなく、対話力、分析力・考察力、課題探求力といったグローバル人材に不可欠な資質能力を養い、将来、国際的な課題の解決や豊かな社会の創造に貢献できる人材を養成する。

そのため、次のような関心・目標等を持った人材を受け入れる。

- グローバル化が急速に進展し、世界のさまざまな問題が一層複雑化するなかで、そのような諸課題の原因究明と解決方法の提案に向けて、意欲的に研究しようとする人
- 大学院研究科での研究を通じて、深い専門的知識、高い語学力や対話力、分析力や考察力といった課題探求力を培い、リーダーシップを発揮して国内外の社会において活躍したい人

言語コミュニケーション専攻

グローバル社会における言語コミュニケーションに関連する問題に関して深い問題意識をもって研究を遂行することによって、相互に関連を深める国際情勢を複眼的な視点から総合的・大局的に分析し、問題解決に向けて高い英語力・対話力をもって積極的に行動できるリーダーを育成する。

そのため、次のような関心・目標等を持った人材を受け入れる。

- グローバル社会において、高い語学力・対話力をもってリーダーシップを発揮して活躍すると同時に、他者に対する理解力や寛容さあるいは柔軟性と批判的精神をもって、相互理解や多文化理解を積極的に推進したい人。
- 大学院研究科での研究を通じて、言語コミュニケーションに関わる専門的知識や技能を培い、将来、中学校・高等学校英語教員（専修免許）、通訳・翻訳者などの高度の専門的職業人、あるいは研究者として、国内外の社会に貢献したい人

〈博士後期課程〉

国際文化学専攻

修士課程で身に付けた深い学識と研究能力、フィールドワークや研究遂行の過程で得た知見・技能・経験・高い外国語能力を土台とし、独創的で高度な水準の研究を行うことのできる自立した研究者、国内外の研究機関で活躍し、国際文化学の発展に貢献できる人材、多文化の共生する社会の実現に向けて学術的・実践的な側面から貢献できる人材を養成する。

そのため、次のような関心・目標等を持った人材を受け入れる。

- 国際的および学際的な視点に立脚するとともに、自らの専門的知識に基づいて、国際文化研究の領域における新たな知の地平を切り開こうとする人
- 大学院修士課程までの研究において、基礎的研究能力をすでに有していることを示せる人
- これまで十分解明されていない論点について、独自の学術的貢献を果たしたいという意欲を持つ人

グローバルスタディーズ専攻

修士課程で身に付けた深い学識と研究能力、フィールドワークや研究遂行の過程で得た知見・技能・経験・高い外国語能力を土台とし、独創的で高度な水準の研究を行うことのできる自立した研究者、国内外の研究機関で活躍し、グローバルな舞台においてリーダーシップを発揮できる人材、グローバル化する国際社会の抱える諸問題の解決に学術的・実践的な側面から貢献できる人材を養成する。

そのため、次のような関心・目標等を持った人材を受け入れる。

- 国際学研究科修士課程グローバルスタディーズ専攻および言語コミュニケーション専攻の専門性を踏まえて、特に次のような人を求める。
- 大学院修士課程において関連分野の幅広い専門知識を修得するとともに、高度な学術的研究を行うために必要な自律的・主体的研究力を有している人
- 独自の視点から研究テーマを設定し、テーマの背景にある原因の究明と解決方法の提案に向けて意欲的に研究し、独自の学術的貢献を果たしたいという強い意欲を持つ人
- 大学院研究科での研究を通じて、高い語学力および深い専門的知識を培い、国内外の社会において研究者としてまた高度の専門的職業人として活躍したい人

○実践真宗学研究科

本研究科では、仏教（真宗）の教学・教義を基礎として、現代の宗教的かつ社会的な諸問題に対応するとともに、より高度な実践能力を持ちうる宗教的实践者を養成するため、次のような人を求めている。

- 現代の社会的要請をふまえ、仏教（真宗）を基盤とした宗教実践・社会実践に高い関心を持っている人
- 個人や社会が直面する諸問題について解決の方策を専門的に研究する意欲があり、宗教的实践者として現代社会に貢献することへ高い志と熱意を持つ人
- 地域社会や世界各地において、仏教（真宗）を基盤とした宗教実践や社会実践を行うエキスパートとなることを目指す人

○政策学研究科

〈修士課程〉

修士課程では、社会の持続可能な発展に貢献し、地域がかかえる具体的課題を解決することができる政策能力の修得を通じて、協働型社会を担う高度の専門的職業人や研究者を養成するため、次のような人を求めている。

- 人類的及び地域的課題の解決に取り組み、社会の持続可能な発展に貢献するために政策学を研究したいと考えている人
- 公共政策分野における高度の専門的職業人をめざす人、及び広く公共政策に関わる業務に携わりより専門性の高い能力を修得したいと考えている人
- 地方自治体やNPO等で働きながら、政策学を研究したいと志望する人
- 職場でのキャリアアップをはかり、実務の現場で必要なコミュニケーションやファシリテーションのスキル修得に高い関心を持っている人

〈博士後期課程〉

博士後期課程では、社会の持続可能な発展について深く考察し、人類的及び地域的課題の解決に必要な政策学の知識と構想力を身につけた研究者、及びより高度の専門的職業人を養成するため、次のような人を求めている。

- 人類的及び地域的課題の解決に取り組み、社会の持続可能な発展に貢献するために政策学を研究したいと考えている人
- 政策学についての優れた知識と、政策課題の分析や政策立案に関するより高度な専門的能力を修得したいと考えている人
- 参加や協働に求められるより高度な専門的能力を獲得し、課題解決志向の実践的な政策学を修得したいと考えている人

○農学研究科

〈修士課程〉

修士課程では、「食」や「農」に関わる高度かつ先端的な研究成果を正しく理解・修得し、それらを活用しながら現実的な課題の解決に取り組むことのできる人材を養成する。そのため、次のような関心・目標等を持った人を受け入れる。

- 「食」や「農」に関わる専門分野の基礎的な知識を修得している人
- 「食」や「農」に関する専門分野の研究に積極的に取り組む強い意志を有する人
- 「食」や「農」に関わる現実問題の解決に強い関心のある人

〈博士後期課程〉

博士後期課程では、「食」や「農」に関わる課題解決に役立つ新たな理論、知見、技法を創造・発見することのできる人材を養成する。そのため、次のような関心・目標等を持った人を受け入れる。

- 「食」や「農」に関わる専門的かつ高度な知識を修得している人
- 「食」や「農」に関わる学問の発展に尽くす意欲を強く持つ人
- 「食」や「農」に関わる現実問題の解決及びそのための新知見・技法の開発に強い関心のある人

なお、研究科共同運営コースの「入学者受入れの方針」については、以下のとおりとする。

〈地域公共人材総合研究プログラム（法学研究科・経営学研究科・政策学研究科）〉（修士課程）

「学位授与の方針」で、概略①協働型社会の担い手に必要な実践的、実務的能力、②世代・職業分野をこえてコミュニケーションできる能力、③地域社会の潜在的力を引き出す分析能力と提言能力をもった人の養成を明示しており、この観点から、次のような人を求めています。

- 協働型市民社会の担い手として、理論と実務を学び、地域社会の変革につなげたいと考える人
- 協働型市民社会を構成する人々がもつ多様な価値観の存在を意識し、多角的な視野をもち地域の課題に取り組む能力を身につけたいと考える人
- 専門に関わる経験あるいは知識をもち、理論と実務をつなぐ学修、研究環境において自らの能力を伸ばしたいと考える人

募集人員

大学・短期大学部

募集学部・学科・専攻			募集人員		
学部	学科	専攻	正規留学生		特別留学生
			1年次入学	3年次編転入学	
			試験種別 学科試験方式		
文学部	真宗学科		若干名	若干名	若干名
	仏教学科				
	哲学科	哲学専攻			
		教育学専攻			
	臨床心理学科				
	歴史学科	日本史学専攻			
		東洋史学専攻			
仏教史学専攻					
文化遺産学専攻					
日本語日本文学科					
英語英米文学科					
経済学部	現代経済学科 ※1	若干名	若干名	若干名	
	国際経済学科 ※1		若干名		
経営学部	経営学科	若干名	若干名	若干名	
法学部	法律学科	若干名	若干名	若干名	
政策学部	政策学科	若干名	若干名	若干名	
国際学部	国際文化学科 ※2	30名 ※3	若干名	若干名	
理工学部	数理情報学科		若干名	-	-
	電子情報学科				
	機械システム工学科				
	物質化学科				
	情報メディア学科				
	環境ソリューション工学科				
社会学部	社会学科		若干名	-	-
	コミュニティマネジメント学科				
	現代福祉学科				
農学部	植物生命科学科		若干名	-	-
	資源生物科学科				
	食品栄養学科				
	食料農業システム学科				
短期大学部	社会福祉学科		若干名	-	若干名
	こども教育学科				

※1 経済学部（1年次入学および特別留学生）は、現代経済学科・国際経済学科の2学科で一括して募集を行います。

※2 国際学部グローバルスタディーズ学科は募集しません。

※3 9月入学外国人留学生・帰国生徒・中国引揚者等子女含む

大学院修士課程・博士後期課程

募集研究科・専攻		募集人員					
研究科	専攻	正規留学生				特別留学生	
		修士課程		博士後期課程		修士課程	
		試験種別		試験種別		試験種別	
		学科試験方式	書類審査方式 学科試験を課しません。	学科試験方式	書類審査方式 学科試験を課しません。	学科試験方式	書類審査方式 学科試験を課しません。
文学研究科	真宗学専攻	若干名	-	若干名	-	若干名	-
	仏教学専攻						
	哲学専攻						
	教育学専攻						
	臨床心理学専攻						
	日本史学専攻						
	東洋史学専攻						
日本語日本文学専攻							
英語英米文学専攻							
法学研究科	法律学専攻	若干名	-	若干名	-	若干名	-
経済学研究科	経済学専攻	若干名	若干名	若干名	若干名	-	-
経営学研究科	経営学専攻	若干名	-	若干名	-	-	-
社会学研究科	社会学専攻	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
	社会福祉学専攻						若干名
理工学研究科	数理情報学専攻	若干名	-	若干名	-	-	-
	電子情報学専攻						
	機械システム工学専攻						
	物質化学専攻						
	情報メディア学専攻						
環境ソリューション工学専攻							
国際学研究科	国際文化学専攻	若干名	若干名 ※国外居住者のみ	若干名	若干名 ※国外居住者のみ	-	-
	グローバルスタディーズ専攻	-	若干名	-	若干名	-	-
	言語コミュニケーション専攻	若干名	若干名 ※国外居住者のみ	-	-	-	-
実践真宗学研究科	実践真宗学専攻	若干名	-	-	-	若干名	-
政策学研究科	政策学専攻	若干名	-	若干名	-	-	-
農学研究科	食農科学専攻	若干名	-	若干名	-	-	-

共 通 事 項

出 願 書 類

1. 学部・大学院研究科、試験種別により出願書類が異なります。
出願する学部・研究科、試験種別の指定する書類を提出してください。
2. 所定の出願書類の他に、出願資格によっては、適宜必要書類の提出を求めることがあります。
3. いったん提出された出願書類は、返却しません。
ただし、出身学校等において再発行できない書類に限り、原則として2次審査日に返却します。

個人情報の取り扱いについて

出願書類等に記入された個人情報は、受験票発行や合否結果通知等本学入学試験に関わる事項および個人を特定しない各種統計資料作成のために使用いたします。また、本人の同意を得ることなく第三者に個人情報を提供することはありません。

※本学の個人情報保護への取り組みについては以下のホームページにてご確認ください。

<http://www.ryukoku.ac.jp/privacy.html>

出 願 書 類 送 付 先

〒604-8799 中京郵便局留 「龍谷大学入学試験願書受付センター」宛

【日本国内から出願する場合】

本学所定の封筒にて、簡易書留・速達で郵送してください。

【日本国外から出願する場合】

国際スピード郵便（EMS）等、最も確実かつ早い郵便等で郵送してください。

受 験 料 ・ 納 入 方 法

正規留学生受験料 35,000円 特別留学生受験料 10,000円

※日本国内からと日本国外からでは納入方法が異なりますのでご注意ください。必ず指定の方法で納入してください。いったん納入された受験料は返還しません。

◆日本国内からの納入の場合

出願シートに記入の上、金融機関窓口で納入してください。A～C票は切り離さずに金融機関へ持参してください。A～C票の3カ所に取扱金融機関収納印が押されていることを必ず確認してください。

金融機関がC票（振込依頼書）を切り取り、残りのA・B票が返却されます。B票（受験料領収書）は大切に保管してください。

◆日本国外からの送金の場合

以下のいずれかの方法で納入してください。

①クレジットカード決済（国外居住者に限る）

具体的な納入方法については、以下のwebサイトで確認してください。

なお、クレジットカード決済の場合は、入学検定料35,000円のほかに払込手数料が必要です。支払い方法の詳細については、以下のWebサイトより確認してください。

<http://www.ryukoku.ac.jp/admission/nyushi/foreign/>

クレジットカード決済後、表示される登録内容確認画面より支払明細書をプリントアウトし、出願書類と一緒に送付してください。

②金融機関からの日本円送金

日本国外から送金される場合は、以下の点にご注意ください。

送金にかかる手数料は、すべて依頼人にてご負担いただきます。あなたが送金手続を行う日本国外の金融機関だけでなく、受け取る側の日本の金融機関でも手数料が必要になります。その金額は国や金融機関によって異なります。したがって、日本への送金額は本学の受験料に日本の金融機関手数料（1,500円程度／送金する金融機関に確認してください）を加算して、送金してください。

送金額に不足がある場合は、不足分が納入されるまで受験票は発行しませんのでご了承ください。また、不足分の納入がなく出願が許可されない場合も返金はできませんので、くれぐれもご注意ください。

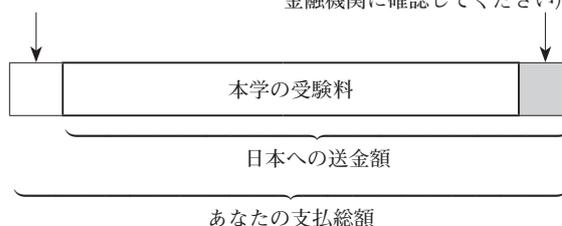
指定口座：三菱UFJ銀行京都駅前支店
銀行TEL：075-371-2171
普通預金：口座番号0300140
名 義：学校法人龍谷大学

MUFG Bank, Ltd. Kyoto-Ekimae Branch

Bank Address : 614, Higashi-Shiokojicho,
Karasumanishi-iru, Shiokoujiodori,
Shimogyo-ku, Kyoto 600-8216, Japan,
Bank TEL : +81-75-371-2171
Bank Swift Code : BOTK JP JT
Bank Number : 0005-434
Account Type : Ordinary
Account Number : 0300140
Account Name : Board of Trustees, Ryukoku University

日本国外での
送金金融機関の手数料

日本の金融機関の手数料
(1,500円程度/送金する
金融機関に確認してください)



感染症（インフルエンザ等）による受験料返還について

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ・はしか等）にかかり、治癒していない場合、その感染症が他の受験生や監督者に拡がるおそれがありますので、原則として入学試験の受験をご遠慮願います。

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ・はしか等）にかかり、治癒していないために本学入学試験を欠席する場合は、当該入学試験（欠席日分）にかかる受験料を返還いたしますので、本学HP（<http://www.ryukoku.ac.jp/admission/nyushi/syutsugan/henkan2.html>）を確認し、各自行ってください。

なお、本学試験を課さない入試型・方式は、受験料返還の対象となりません。

合格発表

1. 合否結果は合格発表日に本人に特定記録・速達（日本国外居住者はEMS）で郵送します。
2. 合否結果に関する問い合わせには一切応じられません。

入学手続

合格者には、合格通知書とともに入学時までに必要な提出書類と手続方法を通知します。

所定の期日までに入学手続（入学時納入金の納入および手続書類の提出）を完了してください。

入学時納入金について

- (1) 定められた入学手続期間に入学時納入金（特別留学生は許可料および科目等履修料）を一括納入してください。手続期間経過後の入学手続は、いかなる事情があっても一切認めませんので充分注意してください。
- (2) 入学時納入金のうち、正規留学生の入学申込金は学部100,000円、大学院50,000円、特別留学生の許可料は10,000円です。この入学申込金（許可料）は、本学の入学を辞退された場合も返還しません。入学手続完了後の入学辞退による授業料等返還制度については、11ページを参照してください。
- (3) 正規留学生の学費および諸会費については35～40ページ、特別留学生の科目等履修料については40ページを参照してください。

※日本国外から本学の口座に直接送金する場合は、必ず日本の金融機関手数料（1,500円程度/金融機関でご確認ください）を加算し、期日までに送金が完了するよう注意してください。

口座は受験料振込先と同じです（9ページの「受験料・納入方法」を参照してください）。クレジットカード決済は使用できません。

授業料等返還制度

全ての入学手続完了後、本学への入学を辞退される場合は、**2019年3月31日(日)15:00**まで（提出書類必着）に手続をしてください。所定の手続を完了されることにより、入学申込金を除く入学時納入金（特別留学生は許可料を除く納入金（科目等履修料））を返還します。入学時納入金のうち、正規留学生の入学申込金は学部100,000円、大学院50,000円、特別留学生の許可料は10,000円です。

手続の方法は合格者に送付する「入学ハンドブック」でご確認ください。

注意事項

- (1) 試験中はすべて監督者の指示に従ってください。指示に従わないときは不正行為とみなし、全科目を無効とします。
- (2) 出願後の出願学部（研究科）・学科（専攻）は変更できません。
- (3) 出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には受験できません。
- (4) 合格発表後に出願書類および入学手続書類等に虚偽の記載があることが明らかになった場合には、入学許可を取り消します。
- (5) 龍谷大学入学試験では、障がい等のある受験生のために受験上の配慮を行います。受験上の配慮を希望する受験生は、出願等の手続をする前に本学へ必ずご連絡ください。

外国人留学生再入学試験について

龍谷大学を中途退学、または学費未納により除籍となった外国人留学生が、再入学を願い出たときは、その事情を調査のうえ、入学を許可することがあります。その出願については、別途再入学試験要項で詳細を確認してください。

正規留学生 大学・短期大学部 1 年次入学 学科試験方式 入学試験要項

学部正規留学生とは、外国の国籍を有する者で、外国において所定の課程を履修し、学部の卒業を目的として入学する者です

出願資格

次の①か②いずれかに該当する者

①外国の国籍を有する者で、外国において学校教育における12年の課程を修了した者（修了見込みの者）、または日本の大学に入学するための準備教育課程（文部科学大臣指定）を修了もしくは修了見込みの者。

②本学学部教授会が同等の資格を有すると認めた者。

経営学部出願者は、上記の出願資格に加えて、次の(1)(2)のいずれかに該当する者。

(1) 「日本留学試験」（日本学生支援機構）の2016年度第2回（11月実施）、2017年度第1回（6月実施）、2017年度第2回（11月実施）、2018年度第1回（6月実施）のいずれかを受験し、次の①と②のすべてを満たす者。

①「日本語（記述問題を含む）」280点以上。

②「総合科目」120点以上または「数学（コース1）」100点以上。ただし、いずれの科目も、出題言語は日本語に限る。

(2) 日本語能力試験（公益財団法人日本国際教育支援協会／国際交流基金）の2級またはN2以上に合格した者。

注. 本学の講義は日本語で行われますので、講義が理解できるだけの日本語能力が必要です。また、社会学部は英語が必修科目ですので、ご注意ください。

入試スケジュール・選考方法

選考方法 1次審査（受験資格審査）および2次審査（学科試験・面接）を実施します。

大学・短期大学部 1年次入学		<国内＝日本国内居住者、国外＝日本国外居住者>					
募集学部・学科		出願期間 ※郵送に限ります。	1次審査 結果通知日	2次審査日	合格発表	入学手続Ⅰ 入学時納入金の納入	入学手続Ⅱ 手続書類の提出
前期 日程	文 学 部 経 済 学 部 経 営 学 部 法 学 部 政 策 学 部 国際学部国際文化学科	国内 2018年 10月11日(木)～ 10月17日(水) 締切日消印有効	2次審査日の 約1週間前	2018年 11月24日(土)	2018年 12月8日(土)	2018年 12月10日(月) ～ 12月14日(金)	2019年 2月8日(金) ～ 3月20日(水) 必着
	国際学部国際文化学科 社 会 学 部 農 学 部 短 期 大 学 部	国外 2018年 9月14日(金)～ 9月25日(火) 締切日必着	出願締切日か ら約3週間後				

大学 1年次入学		<国内＝日本国内居住者、国外＝日本国外居住者>					
募集学部		出願期間 ※郵送に限ります。	1次審査 結果通知日	2次審査日	合格発表	入学手続Ⅰ 入学時納入金の納入	入学手続Ⅱ 手続書類の提出
後期 日程	政 策 学 部 国際学部国際文化学科	国内 2018年 12月10日(月)～ 12月14日(金) 締切日消印有効	2次審査日の 約1週間前	2019年 2月16日(土)	2019年 2月23日(土)	2019年 2月25日(月) ～ 3月1日(金)	2019年 2月25日(月) ～ 3月20日(水) 必着
	理 工 学 部	国内 2018年 12月10日(月)～ 12月14日(金) 締切日消印有効					
		国外 2018年 11月14日(水)～ 11月21日(水) 締切日必着	出願締切日か ら約3週間後				

※国際学部指定校推薦入学試験は前期日程のみの実施となり、後期日程では実施しません。

注. 国際学部グローバルスタディーズ学科は募集しません。

後期日程では、政策学部・国際学部国際文化学科には国外居住者の出願はできません。

1 次審査内容 (受験資格審査)

審査内容	出願書類に基づき受験資格の有無を審査します。 受験資格を有すると認められた場合のみ2次審査を受験できます。
結果通知	受験資格を有すると認められた場合は、受験票を交付します。 2次審査の際に必ず 受験票を持参 してください。国外居住者で受験資格を認められた場合は、 受験票と短期滞在査証申請用の「 受験許可証 」を発行します。 査証の申請に時間を要することがありますので、ご注意ください。

2 次審査内容

試験科目 試験時間 試験会場	学部	試験会場	説明	英語	専門科目 (学科専攻別小論文)	面接
	文学部	龍谷大学 深草キャンパス	8:40~9:00	9:00~10:00	10:15~11:15	12:15~
	学部	試験会場	説明	小論文	面接	
	経済学部	龍谷大学 深草キャンパス	8:40~9:00	9:00~10:00	10:30~	
	経営学部				10:20~	
	政策学部		10:30~			
	法学部		10:10~10:30	10:30~12:00	13:00~	
	国際学部 国際文化学科		8:40~9:00	9:00~10:00	10:30~	
	国際学部 国際文化学科 指定校推薦※	10:10~10:30	—			
	社会学部	龍谷大学 瀬田キャンパス	10:10~10:30	10:30~12:00	12:30~	
農学部	龍谷大学 深草キャンパス					
短期大学部	龍谷大学 深草キャンパス					
学部	試験会場	説明	面接			
理工学部	龍谷大学 瀬田キャンパス	10:10~10:30	10:30~			
<p>※前期日程のみ実施 試験室は当日掲示します。 試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。</p>						
合否判定	<p>〈文・経済・法・政策・国際（指定校推薦者を除く）・社会・農・短期大学部〉 学科試験・面接および出願書類（日本留学試験の成績を含む）を総合して、合否を判定します。1科目でも欠席（日本留学試験の各学部の定める科目の未受験を含む）した場合は、その試験日を欠席扱いとし、合否の判定対象となりません。</p> <p>〈経営学部〉 学科試験・面接および出願書類（日本留学試験の成績を除く）を総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日を欠席扱いとし、合否の判定対象となりません。</p> <p>〈国際（指定校推薦者）・理工学部〉 面接および出願書類（理工学部は日本留学試験の成績を含む）を総合して、合否を判定します。1科目でも欠席（理工学部は日本留学試験の各学部の定める科目の未受験を含む）した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、合否の判定対象となりません。</p>					

出願書類 出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には受験できません。

(1) 入学願書 (本学所定用紙)

出願者本人が日本語で正確に記入してください。

出願者氏名は、住民票またはパスポートに記載されている名前を記入してください。

(2) 出願シート (本学所定用紙)

写真の貼付が必要な箇所があります。写真は入学が許可された場合には、学生証や教務情報等に使用します。卒業するまで使用するのに相応しい服装とします (制服以外が望ましい)。

※入学後、学生証の写真を差し替える場合は、有償となります。

大学から出願者本人への連絡は、この出願シートに記入された内容により行いますので間違いのないように記入してください。入学願書の記入内容と相違がないように注意してください。

受験料を日本国外から送金する場合も提出してください。

(3) 卒業証明書・成績証明書 (いずれも原本)

高等学校の卒業証明書・成績証明書を提出してください。

日本の大学に入学するための準備教育課程 (文部科学大臣指定) を修了もしくは修了見込みの者は、修了 (見込み) 証明書も提出してください。

なお、学士またはそれ以上の学位の取得者で、その学位取得証明書を提出する場合は、高等学校の卒業証明書・成績証明書の提出は不要です。

注意事項

- ① 卒業 (修了) 見込みの場合、**卒業 (修了) 見込み証明書**を提出してください。
- ② 成績証明書は、**在学期間全ての成績を証明したものを**提出してください。
- ③ 大学等の高等教育機関に在学中の場合、**在学証明書**も提出してください。
- ④ 日本語または英語以外で書かれている場合は、駐日外国公館・在外公館等の公的機関による法定翻訳または在籍校 (日本語学校を含む) による公印つき翻訳 (日本語または英語) を添付してください。
- ⑤ 証明書のコピーは一切不可です。

(4) 「日本留学試験」(日本学生支援機構) の受験票 (または成績通知書) の写し (国際学部指定校推薦者を除く)

次の「日本留学試験」のうち、いずれか1つを選んで提出してください。複数試験の提出や出願後の追加提出・変更は認めません。

※経営学部出願者は、出願資格(1)に該当する者のみ、成績通知書 (受験票の写しおよび成績通知書の写しは不可) を提出してください。

2018年11月実施入学試験 (前期日程)	2019年2月実施入学試験 (後期日程)
2016年度第2回 (11月実施)	2017年度第1回 (6月実施)
2017年度第1回 (6月実施)	2017年度第2回 (11月実施)
2017年度第2回 (11月実施)	2018年度第1回 (6月実施)
2018年度第1回 (6月実施)	2018年度第2回 (11月実施)

各学部の定める科目をすべて受験してください。

学部	学部の定める受験科目
文学部	「日本語 (記述問題を含む)」
経済学部	
法学部	
政策学部*	
国際学部国際文化学科* 社会学部	
短期大学部	「日本語 (記述問題を含む)」 (必須)、 「総合科目」または「数学 (コース1)」 ※いずれの科目も、出願言語は日本語に限る。
経営学部 ※出願資格(1)に該当する者のみ	

※前期日程・後期日程

学部	学部の定める受験科目
理工学部	「日本語（記述問題を含む）」、「理科」（物理、化学、生物から2科目選択）と「数学」（コース2） ※いずれの科目も、出題言語は問わない。
農学部植物生命科学科	「日本語（記述問題を含む）」、「理科」（物理、化学、生物から1科目選択） ※出題言語は問わない。
農学部資源生物科学科	
農学部食品栄養学科	
農学部食料農業システム学科	「日本語（記述問題を含む）」、「総合科目」 ※出題言語は問わない。

- (5) 「日本語能力試験」（公益財団法人日本国際教育支援協会／国際交流基金）2級またはN2以上の合格を示した「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」（コピー不可）
経営学部出願者で、出願資格(2)に該当する者のみ提出してください。
- (6) TOEFL[®]またはTOEIC[®]の成績通知書（コピー）（理工学部出願者のみ）
2018年4月以降に受験し、取得したスコアであることを実施団体が証明する成績通知書を提出してください。
- (7) 推薦書（本学所定用紙 様式A）（経済・国際・理工学部出願者のみ）
最終出身学校の学校長（学長）または出願者の学力に詳しい教員（日本語学校教員も可）によるものに限り、出願時に本学（留学生別科を含む）に在学中の外国人留学生は提出不要です。
- (8) 学校長推薦書（国際学部指定校推薦者のみ）
指定校の学校長によるものに限り、(7)の推薦書（本学所定用紙）も併せて提出してください。
この場合、(7)の推薦書（本学所定用紙）は出願者の学力に詳しい教員（日本語学校教員も可）によるものに限り、
なお、指定校推薦については専願制となります。
- (9) 住民票の写し
日本国内居住者のみ提出してください。試験実施日が在留期間満了日より前であるものに限り、
また、「国籍」「在留資格」「在留期間」「在留期間の満了日」「在留カード番号」が記載されるよう、発行元に依頼してください。
※世帯については「世帯全員」「世帯一部」のどちらを選択しても構いません。

正規留学生 3年次編転入学

文学部、経済学部、経営学部、法学部、政策学部、国際学部 入学試験要項

学部正規留学生とは、外国の国籍を有する者で、外国において所定の課程を履修し、学部の卒業を目的として入学する者です

出願資格

外国の国籍を有する者で、学校教育における14年の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む*）を修了した者（修了見込みの者）、または本学学部教授会が同等の資格を有すると認めた者。

※「自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、日本の大学に入学するための準備教育課程（文部科学大臣指定）を修了した者」を含む。

- ・経営学部出願者は、上記の出願資格に加えて、日本語能力試験（公益財団法人日本国際教育支援協会／国際交流基金）の1級またはN1に合格した者。
- ・政策学部出願者は、上記の出願資格に加えて、日本語能力試験（公益財団法人日本国際教育支援協会／国際交流基金）の2級またはN2に合格した者。

専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準（専門課程の修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1700時間以上）を満たすものを修了した者または2019年3月に修了見込みの者（ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）が出願できるのは、国際学部に限ります。

注. 本学の講義は日本語で行われますので、講義が理解できるだけの日本語能力が必要です。

大学に2年以上在学した者または2019年3月に2年次修了見込みの者が、編転入学試験に出願する場合、各学部が定める以下の出願条件の一つを満たしている必要があります。

文学部	(1)大学に2年以上在学し、原則として62単位以上修得済みの者または40単位以上修得済みで本学3年次転入学時に原則として62単位以上修得見込みの者。 (2)大学2年に在学し、40単位以上修得済みで、2年次修了時に原則として62単位以上修得見込みの者。
経済学部	(1)大学に2年以上在学し、原則として62単位以上修得済みの者または本学3年次転入学時に原則として62単位以上修得見込みの者。 (2)大学2年に在学し、2年次修了時に原則として62単位以上修得見込みの者。
経営学部	(1)大学に2年以上在学し、原則として62単位以上修得済みの者または本学3年次転入学時に原則として62単位以上修得見込みの者。 (2)大学2年に在学し、2年次修了時に原則として62単位以上修得見込みの者。
法学部	(1)大学に2年以上在学し、62単位以上修得済みの者または本学3年次転入学時まで62単位以上修得見込みの者。 (2)大学2年に在学し、2年次修了時に62単位以上修得見込みの者。
政策学部	(1)大学に2年以上在学し、原則として62単位以上修得済みの者または本学3年次転入学時まで原則として62単位以上修得見込みの者。 (2)大学2年に在学し、2年次修了時に原則として62単位以上修得見込みの者。
国際学部 国際文化学科	(1)大学に2年以上在学し、62単位以上修得済みの者または本学3年次転入学時に62単位以上修得見込みの者。 (2)大学2年に在学し、2年次修了時に62単位以上修得見込みの者。 ※諸外国の制度により単位計算方法が異なる場合は国際学部教務課へ問い合わせること。

注1. 文学部・経済学部

上記の単位数は卒業要件に定める単位の有無は問いません。

注2. 経営学部・法学部・政策学部・国際学部

上記の単位数は、当該大学が卒業要件に定める単位に限ります。

注3. 単位修得見込みにより転入学試験に合格しても、その単位数が修得できなかった場合は入学を取り消します（その場合は、至急当該学部教務課に連絡してください）。

入試スケジュール・選考方法

選考方法	1次審査（受験資格審査）および2次審査（学科試験・面接）を実施します。
------	-------------------------------------

3年次編転入		＜国内＝日本国内居住者、国外＝日本国外居住者＞					
募集学部・学科	出願期間 ※郵送に限ります。	1次審査 結果通知日	2次審査日	合格発表	入学手続Ⅰ 入学時納入金の納入	入学手続Ⅱ 手続書類の提出	
文学部 経済学部 経営学部 法学部 政策学部 国際学部国際文化学科	国内	2018年 10月11日(木)～ 10月17日(水) 締切日消印有効	2次審査日の 約1週間前	2018年 11月24日(土)	2018年 12月8日(土)	2018年 12月10日(月) 12月14日(金) ※国外居住者は 12月21日(金)まで	2019年 2月8日(金) 3月20日(水) 必着
	国外	2018年 9月14日(金)～ 9月25日(火) 締切日必着	出願締切日から 約3週間後				

1 次審査内容 (受験資格審査)

審査内容	出願書類に基づき受験資格の有無を審査します。 受験資格を有すると認められた場合のみ2次審査を受験できます。
結果通知	受験資格を有すると認められた場合は、受験票を交付します。 2次審査の際に必ず 受験票を持参 してください。国外居住者で受験資格を認められた場合は、 受験票と短期滞在査証申請用の「受験許可証」 を発行します。 査証の申請に時間を要することがありますので、ご注意ください。

2 次審査内容

試験科目 試験時間 試験会場	学部	試験会場	説明	英語	専門科目 (学科専攻別小論文)	面接
	文学部	龍谷大学 深草キャンパス	8:40~9:00	9:00~10:00	10:15~11:15	12:15~
	学部	試験会場	説明	専門科目 (経済学に関する小論文) ※専門課程履修に必要な基礎的素養について試験する		面接
	経済学部	龍谷大学 深草キャンパス	8:40~9:00	9:00~10:00		10:30~
	学部	試験会場	説明	小論文 (日本語による専門科目筆答)		面接
	経営学部	龍谷大学 深草キャンパス	8:40~9:00	9:00~10:00		10:20~
	学部	試験会場	説明	小論文		面接
法学部	龍谷大学 深草キャンパス	10:10~10:30	10:30~12:00		13:00~	
政策学部		8:40~9:00	9:00~10:00		10:30~	
国際学部 国際文化学科						
合否判定	試験室は当日掲示します。 試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。 学科試験・面接および出願書類(文学部は日本留学試験の成績を含む)を総合して、合否を判定します。1科目でも欠席(文学部は日本留学試験で定める科目の未受験を含む)した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。					

3 正
年 規
次 留
編 学
転 入
入 学
学 生

出願書類 出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には受験できません。

- 入学願書 (本学所定用紙)**
出願者本人が日本語で正確に記入してください。
出願者氏名は、住民票またはパスポートに記載されている名前を記入してください。
- 出願シート (本学所定用紙)**
写真の貼付が必要な箇所があります。写真は入学が許可された場合には、学生証や教務情報等に使用します。
卒業するまで使用するのに相応しい服装とします(制服以外が望ましい)。
※入学後、学生証の写真を書き替える場合は、有償となります。
大学から出願者本人への連絡は、この出願シートに記入された内容により行いますので間違いのないように記入してください。入学願書の記入内容と相違がないように注意してください。
受験料を日本国外から送金する場合も提出してください。
- 卒業証明書・成績証明書 (いずれも原本)**
次の①の証明書と②~④のいずれかの証明書を提出してください。
国際学部出願者は、次の①の証明書と②~⑤のいずれかの証明書を提出してください。

- ① 高等学校の卒業証明書・成績証明書**
ただし、学士またはそれ以上の学位の取得者で、その学位取得証明書を提出する場合は、高等学校の卒業証明書・成績証明書の提出は不要。
日本の大学に入学するための準備教育課程(文部科学大臣指定)を修了した者は、修了証明書も提出してください。
- ② 短期大学を卒業(卒業見込)の場合**
短期大学の卒業証明書(卒業見込証明書)・短期大学の成績証明書
- ③ 大学等の高等教育機関に在学(2019年3月末で2年間以上)した場合**
在学期間証明書(本学所定用紙)・成績証明書・単位修得見込証明書(出願時に在学中の場合のみ)
※ただし、政策学部出願者は単位修得見込証明書は不要です。
- ④ 大学等の高等教育機関を卒業(修了)した場合**
卒業(修了)証明書・成績証明書
- ⑤ 専修学校等の高等教育機関を修了(修了見込)の場合**
修了(見込)証明書・成績証明書(修了見込のものは、成績証明書に加えて、現在履修中の科目がわかる「履修歴」の写し等)・受験資格証明書(本学所定様式)

注 意 事 項

- ① 卒業（修了）見込の場合、卒業（修了）見込証明書を提出してください。
- ② 成績証明書は、在学期間全ての成績・修得単位数を証明したものを提出してください。
- ③ 大学等の高等教育機関に在学中の場合、在学期間証明書（本学所定用紙）も提出してください。
- ④ 日本語または英語以外で書かれている場合は、駐日外国公館・在外公館等の公的機関による法定翻訳または在籍校（日本語学校を含む）による公印つき翻訳（日本語または英語）を添付してください。
- ⑤ 証明書のコピーは一切不可です。

(4) 修得単位数証明書（本学所定用紙）

大学在学中で、経営学部・法学部・政策学部・国際学部のいずれかへ出願する場合に必要です。

(5) 「日本留学試験」（日本学生支援機構）の受験票（または成績通知書）の写し（文学部出願者のみ）

学部の定める「日本留学試験」のうち、いずれか1つを選んで提出してください。複数試験の提出や出願後の追加提出・変更は認めません。学部の定める科目をすべて受験してください。

学部	学部の定める「日本留学試験」	学部の定める受験科目
文学部	2016年度第2回（11月実施） 2017年度第1回（6月実施） 2017年度第2回（11月実施） 2018年度第1回（6月実施）	「日本語（記述問題を含む）」

(6) 「日本語能力試験」（公益財団法人日本国際教育支援協会／国際交流基金）の「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」（コピー不可）

〈経済学部・経営学部・法学部・国際学部出願者のみ〉

- ・ 1級またはN1の可否を示すもの

※ただし、経営学部出願者は合格を示すものを提出してください。

〈政策学部出願者のみ〉

- ・ 2級またはN2の合格を示すもの

(7) 推薦書（本学所定用紙 様式A）（経済学部・国際学部国際文化学科出願者のみ）

最終出身学校の学校長（学長）または出願者の学力に詳しい教員（日本語学校教員も可）によるものに限り、出願時に本学（留学生別科を含む）に在学中の外国人留学生は提出不要です。

(8) 住民票の写し

日本国内居住者のみ提出してください。試験実施日が在留期間満了日より前であるものに限り、

また、「国籍」「在留資格」「在留期間」「在留期間の満了日」「在留カード番号」が記載されるよう、発行元に依頼してください。

単位の認定等

入学後の単位の認定は、各学部で行います。

文 学 部	出身大学・短期大学等での修得単位を基礎として、60単位から64単位を認定します。ただし出身大学・短期大学等での修得単位を上限とします。
経済学部	出身大学・短期大学等において修得した単位を基礎として、62単位を上限として認定します。
経営学部	出身大学・短期大学等において修得した単位を基礎として、62単位を上限として認定します。
法 学 部	出身大学・短期大学・高等専門学校での修得単位を基礎として、62単位を上限として認定します。
政策学部	出身大学・短期大学・高等専門学校での修得単位を基礎として、62単位を上限として認定します。
国際学部	出身大学・短期大学等において修得した単位を基礎として、62単位を上限として認定します。

正規留学生 大学院全研究科 学科試験方式 入学試験要項

大学院正規留学生とは、外国の国籍を有する者で、外国において所定の課程を履修し、大学院の修了を目的として入学する者です

出願資格

修士課程	<p>外国の国籍を有する者で、学校教育における16年間の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む^{注1}）を修了した者（修了見込みの者）、または大学の学部と同等の教育機関を修了した者（修了見込みの者）</p> <p>注1 「自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、日本の大学に入学するための準備教育課程（文部科学大臣指定）を修了した者」を含む。</p> <p>※本学大学院の各研究科委員会が上記出願資格と同等の資格を有すると認めた場合には受験を許可することがあります。</p> <p>※経済学研究科では、上記に加えて、外国における15年間の教育課程（中国3年制大学卒業を含む）を修了した者が、本学経済学部の特別留学生として1年間在籍し、32単位以上を履修した場合に限り、出願資格を認めています。ただし、入学までに32単位以上を取得しなかった場合は入学許可を取り消します。</p> <p>※経営学研究科については、上記と併せて日本語能力試験1級またはN1に合格していること。ただし、日本の4年制大学卒業業者（2019年3月卒業見込みの者を含む）をのぞく。</p> <p>※国際学研究科国際文化学専攻については、上記に加え、本人の学歴、職歴ならびに予定されている研究内容に詳しい1名以上の推薦を得られる者</p> <p>※国際学研究科言語コミュニケーション専攻については、上記に加え、本人の学歴、職歴ならびに予定されている研究内容に詳しい1名以上の推薦を得られる者（本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要。）</p>
------	---

- 注. 文学研究科臨床心理学専攻を希望する者は、以下の要件を熟読の上、出願すること。
- (1)臨床心理学専攻を希望し、修了後に公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の臨床心理士資格を取得することを希望する場合は、外国人留学生入学試験での入学資格は得られません。【協会「特化した試験を合格した者」という規定のためです。】
 - (2)修了後に公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の臨床心理士資格を取得できないことを了解した上であれば、臨床心理学専攻を選択できます。【資格試験が受験できないことを了解している場合は、臨床心理学専攻を選択することができます。】
 - (3)修了後に公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の臨床心理士資格を取得することを希望する場合は、一般の大学院入学試験で、文学研究科臨床心理学専攻を受験し合格して入学しなければなりません。
 - (4)公認心理師を受験するためには、大学で所定の科目を修得し卒業した上で、大学院で所定の科目を修得する必要があります。大学院のみでは公認心理師の受験資格を得ることはできません。なお、公認心理師の受験資格については、国等が定める要件を確認してください。

博士後期課程	<p>外国の国籍を有する者で、外国において所定の学校教育（原則として12年以上の課程^{注1}）を修了（修了見込み）し、かつ大学機関で修士の学位を得た者（取得見込みの者）</p> <p>注1 「自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、日本の大学に入学するための準備教育課程（文部科学大臣指定）を修了した者」を含む。</p> <p>※本学大学院の各研究科委員会が上記出願資格と同等の資格を有すると認めた場合には受験を許可することがあります。</p>
--------	---

入試スケジュール・選考方法

選考方法	1次審査（受験資格審査）および2次審査（学科試験・口述試験）を実施します。
------	---------------------------------------

大学院修士課程		<国内=日本国内居住者、国外=日本国外居住者>						
募集研究科	出願期間 ※郵送に限ります。	1次審査 結果通知日	2次審査日	試験会場	合格発表	入学手続Ⅰ 入学時納入金の納入	入学手続Ⅱ 手続書類の提出	
前期日程	国内	2018年 10月11日(木)～ 10月17日(水) 締切日消印有効	2次審査日の 約1週間前	2018年 11月24日(土)	文学・法学・ 経済学・経営学・ 実践真宗学・ 政策学・国際学： 龍谷大学深草キャンパス	2018年 12月8日(土)	2018年 12月10日(月) ～ 12月14日(金) ※国外居住者は 12月21日(金)まで	2019年 2月8日(金) ～ 3月20日(水) 必着
	国外	2018年 9月14日(金)～ 9月25日(火) 締切日必着	出願締切日から 約3週間後					

※国際学研究科グローバルスタディーズ専攻は、学科試験方式は実施しません。

学大正
科学院全
試留
験方学
式科生

募集研究科		出願期間 ※郵送に限ります。	1次審査 結果通知日	2次審査日	試験会場	合格発表	入学手続Ⅰ 入学時納入金の納入	入学手続Ⅱ 手続書類の提出	
後 期 日 程	国際学研究科* 農学研究科	国 内	2018年 12月10日(月)～ 12月14日(金) 締切日消印有効	2次審査日の 約1週間前	2019年 2月16日(土)	国際学： 龍谷大学深草キャンパス 農学： 龍谷大学瀬田キャンパス	2019年 2月23日(土)	2019年 2月25日(月) ～ 3月1日(金) ※国外居住者は 3月8日(金)まで	2019年 2月25日(月) ～ 3月20日(水) 必着
		国 外	2018年 11月14日(水)～ 11月21日(水) 締切日必着	出願締切日から 約3週間後					

※国際学研究科グローバルスタディーズ専攻は、学科試験方式は実施しません。

大学院博士後期課程 <国内＝日本国内居住者、国外＝日本国外居住者>

募集研究科		出願期間 ※郵送に限ります。	1次審査 結果通知日	2次審査日	試験会場	合格発表	入学手続Ⅰ 入学時納入金の納入	入学手続Ⅱ 手続書類の提出	
前 期 日 程	国際学研究科* 農学研究科	国 内	2018年 10月11日(木)～ 10月17日(水) 締切日消印有効	2次審査日の 約1週間前	2018年 11月24日(土)	国際学： 龍谷大学深草キャンパス 農学： 龍谷大学瀬田キャンパス	2018年 12月8日(土)	2018年 12月10日(月) ～ 12月14日(金) ※国外居住者は 12月21日(金)まで	2019年 2月8日(金) ～ 3月20日(水) 必着
		国 外	2018年 9月14日(金)～ 9月25日(火) 締切日必着	出願締切日から 約3週間後					
後 期 日 程	文学研究科 法学研究科 経済学研究科 経営学研究科 社会学研究科 理工学研究科* 国際学研究科 政策学研究科 農学研究科	国 内	2018年 12月10日(月)～ 12月14日(金) 締切日消印有効	2次審査日の 約1週間前	2019年2月18日(月) 法学・経済学・ 経営学・社会学・ 理工学・国際学・ 政策学・農学： 2019年2月16日(土)	2019年 2月23日(土)	2019年 2月25日(月) ～ 3月1日(金) ※国外居住者は 3月8日(金)まで	2019年 2月25日(月) ～ 3月20日(水) 必着	
		国 外	2018年 11月14日(水)～ 11月21日(水) 締切日必着	出願締切日から 約3週間後					文学： 龍谷大学大宮キャンパス 法学・経済学・ 経営学・政策学・ 国際学： 龍谷大学深草キャンパス 社会学・理工学・農学： 龍谷大学瀬田キャンパス

※国際学研究科グローバルスタディーズ専攻は、学科試験方式は実施しません。

1次審査内容（受験資格審査）

審査内容	出願書類に基づき受験資格の有無を審査します。 受験資格を有すると認められた場合のみ2次審査を受験できます。
結果通知	受験資格を有すると認められた場合は、受験票を交付します。 2次審査の際に必ず受験票を持参してください。国外居住者で受験資格を認められた場合は、 受験票と短期滞在査証申請用の「受験許可証」を発行します。 査証の申請に時間を要することがありますので、ご注意ください。

2次審査内容

研究科	試験科目・試験時間				
文学研究科	修士課程	8:40～ 9:00 説明	9:00～10:30 外国語筆答試験（英語・ドイツ語・フランス語・中国語・日本語から1科目選択（ただし母語を除く）） 【出願時に届出】 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書等の持込み不可	10:45～12:15 専門科目筆答 試験 (専攻別)	13:15～ 口述試験 (専門科目を主としたもの)
	博士後期課程	8:40～ 9:00 説明	9:00～10:30 外国語筆答試験 (英語・ドイツ語・フランス語・中国語・日本語から1科目選択（ただし母語を除く）) 《英語英米文学専攻》 英語に限る 【出願時に届出】 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書等の持込み不可	10:50～12:20 専門科目筆答試験（専攻別） 【ただし下記の専攻は試験内容に留意すること】 《真宗学専攻》文献読解（仏教漢文）を含む 《仏教学専攻》文献読解（サンスクリット語、パーリ語、チベット語、仏教漢文から1科目選択） 《教育学専攻》教育学、教育心理学のうち1科目選択 《日本史学専攻》古代～近現代史料読解を含む ★仏教学専攻および教育学専攻については出願時に選択科目を届出（試験当日の科目変更不可） ★語学に関する辞書1冊持込み可（ただし、電子辞書は不可）	13:15～ 修士論文を主とした口述試験

研究科		試験科目・試験時間			
法学研究科 政策学研究科	修士課程	8:40～ 9:00 説明	9:00～10:30		10:45～
	博士後期課程		小論文（日本語）		口述試験（出願書類・小論文を主としたもの）
経済学研究科	修士課程	8:40～ 9:00 説明	9:00～10:30		10:45～
	博士後期課程		日本語による小論文		口述試験
経営学研究科	修士課程	8:40～ 9:00 説明	9:00～10:30		10:45～
	博士後期課程		日本語による小論文 ※国費留学生は免除		口述試験 修士論文あるいはそれに相当する 学術論文ならびに今後の研究計画 に関する口述試験
社会学研究科	修士課程	8:40～ 9:00 説明	9:00～10:30		10:45～
	博士後期課程	8:55～ 9:15 説明	小論文（日本語による専門科目筆答）		口述試験
社会学研究科	修士課程	10:10～ 10:30 説明	9:15～10:45		11:00～12:30
	博士後期課程		外国語（英語・ドイツ語・フランス語・中国語のうちから1科目選択 〈ただし、母語を除く〉） 【出願時に届出】 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書持込み可（ただし電子辞書、専門用語辞書は不可）		小論文（日本語による専門科目筆答）
社会学研究科	修士課程	10:40～ 11:00 説明	10:30～12:00		12:30～
	博士後期課程	10:40～ 11:00 説明	小論文（日本語による各専攻・コースの専門領域に関するもの）		口述試験（各専攻・コースの専門領域を主としたもの）
理工学研究科	修士課程	8:40～ 9:00 説明	9:00～10:30	10:45～12:45	13:45～
	博士後期課程		英語 専門科目（専攻別）		口述試験（専攻科目を主としたもの）
国際学研究科	修士課程 言語コミュニケーション専攻	14:10～ 14:30 説明・ 書類記入	9:00～		修士論文ならびに今後の研究計画に関する口述試験
	修士課程 国際文化学専攻	11:10～ 11:30 説明・ 書類記入	14:30～（30分程度）		口述試験
	博士後期課程 国際文化学専攻	11:10～ 11:30 説明・ 書類記入	11:30～13:00		14:30～
実践真宗学研究科	修士課程	8:40～ 9:00 説明	11:30～13:00		14:30～
	博士後期課程		外国語筆記試験 〔英語・中国語・コリア語・フランス語・日本語から、母語以外の1科目選択〕 【出願時に届出】 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書等の持込み不可		口述試験 （専門科目を主としたもの）
農学研究科	修士課程	10:00～ 10:20 説明・ 書類記入	9:00～10:30		10:45～12:15
	博士後期課程		外国語筆答試験 〔英語・日本語から1科目選択〕 （ただし母語を除く） 【出願時に届出】 ★試験当日の科目変更不可 ★辞書等の持込み不可		専門科目筆答試験 〔専門科目筆答試験並びに〕 〔実践についての論述試験〕
農学研究科	修士課程	10:00～ 10:20 説明・ 書類記入	10:20～11:50		13:00～
	博士後期課程		専門科目筆答試験		口述試験（出願書類を主としたもの）
			10:20～		口述試験

試験室は当日掲示します。

試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

注. 文学研究科（修士課程・博士後期課程）・経営学研究科（博士後期課程）・国際学研究科（博士後期課程）・実践真宗学研究科では、出願時に外国語科目選択の届出が必要です。試験科目選択シートに記入し、提出してください。

合否判定	学科試験・口述試験および出願書類を総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。
------	--

出願書類 出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には受験できません。

(1) 入学願書 (本学所定用紙)

出願者本人が日本語で正確に記入してください。

出願者氏名は、住民票またはパスポートに記載されている名前を記入してください。

(2) 出願シート (本学所定用紙)

写真の貼付が必要な箇所があります。写真は入学が許可された場合には、学生証や教務情報等に使用します。修了するまで使用するのに相応しい服装とします (制服以外が望ましい)。

※入学後、学生証の写真差し替える場合は、有償となります。

大学から出願者本人への連絡は、この出願シートに記入された内容により行いますので間違いのないように記入してください。入学願書の記入内容と相違がないように注意してください。

受験料を日本国外から送金する場合も提出してください。

(3) 卒業証明書・成績証明書 (いずれも原本)

卒業証明書・成績証明書については、以下のとおり提出してください。

修士課程出願者

① 出身大学の卒業証明書・成績証明書

※国際学研究科出願者で、修士・博士後期課程修了 (見込) 者は、修士・博士後期課程の修了 (見込) 証明書及び成績証明書、博士後期課程満期退学者は単位修得証明書も提出してください。

博士後期課程出願者

① 出身大学の卒業証明書・成績証明書

※国際学研究科出願者で現在、本学国際文化学研究科修士課程に在学中の方は、学部の卒業証明書・成績証明書は提出不要です。

② 出身大学院修士課程の修了証明書・成績証明書

※国際学研究科出願者で、博士後期課程修了 (見込) 者は、博士後期課程の修了 (見込) 証明書及び成績証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位取得証明書も提出してください。

注意事項 (修士課程・博士後期課程共通)

- ① 卒業 (修了) 見込の場合、**卒業 (修了) 見込証明書**を提出してください。その場合、卒業 (修了) 後、必ず卒業 (修了) 証明書を入学手続き時に提出してください。
- ② 成績証明書は、**在学期間全ての成績を証明したものを**提出してください。
- ③ 理工学研究科出願者は、**英語または日本語の言語で発行された証明書**を提出してください。
- ④ 中国の大学または大学院を卒業 (修了) した場合、その卒業 (修了) 証明書に「中国高等教育学生信息网」(学信網) (<http://www.chsi.com.cn/xlxx/bgys.jsp>) へ登録してダウンロードした「教育部学历证书电子注册备案表」のPDFファイルを印刷したもの※1を添付してください。
中国の大学または大学院を卒業 (修了) 見込みの場合、その卒業 (修了) 見込証明書に「中国高等教育学生信息网」(学信網) (<http://www.chsi.com.cn/xlxx/bgys.jsp>) へ登録してダウンロードした「教育部学籍在线验证报告」のPDFファイルを印刷したもの※2を添付してください。
※1または※2の書類を提出できない場合は、「公証書」(政府機関等が正式なものとして認めた証明書。ただし、中国国内で発行されたものに限る) を提出してください。日本国内の領事館で発行されたものは認められません。
- ⑤ 日本語または英語以外で書かれている場合は、駐日外国公館・在外公館等の公的機関による法定翻訳または在籍校 (日本語学校を含む) による公印つき翻訳 (日本語または英語) を添付してください。
- ⑥ 証明書のコピーは一切不可です。

(4) 日本語能力認定書 (本学所定用紙)

経営学研究科修士課程出願者は日本語能力試験 (公益財団法人日本国際教育支援協会/国際交流基金) 1級またはN1の合格を示した「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」(コピー不可) を提出してください。ただし、日本の4年制大学卒業者 (2019年3月卒業見込みの者を含む) は不要です。

経営学研究科修士課程以外の出願者で、以下のどちらかに該当する場合、本学所定用紙の認定書は不要です。

- 「日本語能力試験」(公益財団法人日本国際教育支援協会/国際交流基金) 1級またはN1の受験者は、「日本語能力試験」1級またはN1の合格を示した「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」(コピー不可) を提出してください。
- 日本の4年制大学卒業者 (2019年3月卒業見込みの者を含む)

(5) 推薦書 (本学所定用紙 様式B) (経済・国際・理工学研究科出願者) ※国際学研究科出願者は様式自由

最終出身学校の学校長 (学長) または出願者の学力に詳しい教員 (日本語学校教員も可) によるものに限ります。出願時に本学に在学中の外国人留学生 (特別留学生は除く) および留学生別科に在学中の外国人留学生は提出不要です。

また、次の研究科については、以下の提出条件にしたがってください。

[理工学研究科]

理工学研究科博士後期課程への出願者については、必ずしも推薦書を提出する必要はありません。

[国際学研究科]

国際学研究科への出願者は、出願時に本学に在学中であっても必ず推薦書を提出してください。

- ・ 修士課程言語コミュニケーション専攻

推薦書1名分 (様式自由)

正規留学生 大学院 経済学研究科 書類審査方式 入学試験要項

大学院正規留学生とは、外国の国籍を有する者で、外国において所定の課程を履修し、大学院の修了を目的として入学する者です

出願資格

【修士課程】

以下の出願資格(1)もしくは(2)に該当する者、または本学経済学研究科委員会が認めた者

出願資格(1)

次の①から③のすべてに該当する者

- ① 外国の国籍を有する者で、学校教育における16年間の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む^{*}）を修了した者（修了見込みの者）、または大学の学部と同等の教育機関を修了した者（修了見込みの者）
- ② 文部科学省等の公的機関から、国費留学生奨学金またはこれに準ずる経費支弁を受けられる者
- ③ 本研究科専任教員を含め、本人の学力に詳しい大学教員、もしくはそれに準ずる研究者3名以上の推薦を得られる者

出願資格(2)

次の①から④のすべてに該当する者

- ① 外国の国籍を有する者で、学校教育における16年間の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む^{*}）を修了した者（修了見込みの者）、または大学の学部と同等の教育機関を修了した者（修了見込みの者）
- ② 日本語能力試験1級またはN1に合格した者
- ③ 日本国外に居住し、本研究科留学生入学試験日に渡日するのが困難な者
- ④ 本学と交流協定を締結している機関から推薦を得られる者、または本学専任教員の推薦を得られる者

注) 経済学研究科では、外国における15年間の教育課程（中国3年制大学卒業を含む）を修了した者が、本学経済学部の特別留学生として1年間在籍し、32単位以上を履修した場合に限り、出願資格を認めています。ただし、入学までに32単位以上を取得しなかった場合は入学許可を取り消します。

【博士後期課程】

出願資格

次の①から③のすべてに該当する者、または本学経済学研究科委員会が認めた者

- ① 外国の国籍を有する者で、外国において所定の学校教育（原則として12年以上の課程^{*}）を修了（修了見込み含む）し、かつ高等教育機関で修士の学位を得た者（取得見込みの者）
- ② 文部科学省等の公的機関から、国費留学生奨学金またはこれに準ずる経費支弁を受けられる者
- ③ 本研究科専任教員を含め、本人の学力に詳しい大学教員、もしくはそれに準ずる研究者3名以上の推薦を得られる者

※「自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、日本の大学を入学するための準備教育課程（文部科学大臣指定）を修了した者」を含む。

入試スケジュール・選考方法

大学院		募集研究科	課程	選考方法	出願期間 ※郵送に限ります。	合格発表	入学手続Ⅰ 入学時納入金の納入	入学手続Ⅱ 手続書類の提出
経済学研究科	修士課程	出願書類による 総合評価	国内・国外	国内：2019年 1月8日(火)～ 1月18日(金) 締切日必着	2019年 2月23日(土)	2019年 2月25日(月) ～ 3月1日(金) ※国外居住者は 3月8日(金)まで	2019年 2月25日(月) ～ 3月20日(水) 必着	
	博士後期課程			国外：2018年 12月10日(月)～ 12月14日(金) 締切日必着				

出願書類 出願書類に不備や虚偽があった場合には受験できません。

下記のうち特に説明のないものは22～23ページを参照。

(1) **入学願書** (本学所定用紙)

(2) **出願シート** (本学所定用紙)

写真の貼付が必要な箇所があります。写真は入学が許可された場合には、学生証や教務情報等に使用します。修了するまで使用するのに相応しい服装とします(制服以外が望ましい)。

※入学後、学生証の写真差し替える場合は、有償となります。

(3) **卒業証明書・成績証明書** (いずれも原本)

卒業証明書・成績証明書については、以下のとおり提出してください。

修士課程出願者

- ① 出身大学の卒業証明書・成績証明書

博士後期課程出願者

- ① 出身大学の卒業証明書・成績証明書
② 出身大学院修士課程の修了証明書・成績証明書

注意事項 (修士課程・博士後期課程共通)

- ① 卒業(修了)見込の場合、**卒業(修了)見込証明書を提出**してください。その場合、卒業(修了)後、必ず卒業(修了)証明書を入学手続時に提出してください。
- ② 成績証明書は、**在学期間全ての成績を証明したものを提出**してください。
- ③ 中国の大学または大学院を卒業(修了)した場合、その卒業(修了)証明書に「中国高等教育学生信息网」(学信網) (<http://www.chsi.com.cn/xlxx/bgys.jsp>)へ登録してダウンロードした「教育部学歴証書電子注册備案表」のPDFファイルを印刷したもの※1を添付してください。
中国の大学または大学院を卒業(修了)見込みの場合、その卒業(修了)見込証明書に「中国高等教育学生信息网」(学信網) (<http://www.chsi.com.cn/xlxx/bgys.jsp>)へ登録してダウンロードした「教育部学籍在线验证报告」のPDFファイルを印刷したもの※2を添付してください。
※1または※2の書類を提出できない場合は、「公証書」(政府機関等が正式なものと認めた証明書。ただし、中国国内で発行されたものに限る)を提出してください。日本国内の領事館で発行されたものは認められません。
- ④ 日本語または英語以外で書かれている場合は、駐日外国公館・在外公館等の公的機関による法定翻訳または在籍校(日本語学校を含む)による公印つき翻訳(日本語または英語)を添付してください。
- ⑤ 証明書のコピーは一切不可です。

(4) **日本語能力試験1級またはN1の合格を示した「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」**(修士課程出願資格②に該当する場合のみ必要)

(5) **推薦書** (様式自由)

修士課程出願資格①、または博士後期課程の場合

該当する本人の学力に詳しい大学教員、もしくはそれに準ずる研究者によるもの(3名以上)…各1通 合計3通

修士課程出願資格②の場合

推薦機関長によるものと、出願者の学力に詳しい教員によるもの…各1通 合計2通

(なお、本学専任教員による推薦の場合は機関長の推薦書は不要)

(6) **住民票の写し**

日本国内居住者のみ提出してください。**試験実施日が在留期間満了日より前であるもの**に限ります。また、「国籍」「在留資格」「在留期間」「在留期間の満了日」「在留カード番号」が記載されるよう、発行元に依頼してください。

※世帯については「世帯全員」「世帯一部」のどちらを選択しても構いません。

(7) **研究計画書** (本学所定用紙)

(8) **研究論文**

日本語または英語による研究論文 (A4サイズ、和文:12,000字程度、英文:5,000words程度、ワープロ可)

出願上の注意事項

- (1) 出願書類は返却しません。ただし、出身学校等において再発行できない書類に限り、原則として合格発表日以降に返却します。
- (2) 出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には合否判定の対象としません。
- (3) 合格発表後に出願書類および入学手続書類等に虚偽の記載のあることが明らかになった場合には入学許可を取り消します。
- (4) 書類審査方式は入学前に出願者の学力を十分に審査できるものではないので、入学後に大学院生としての学力不足が明らかになった場合は、「退学勧告」をすることもあります。出願者はこのことを熟慮の上、出願してください。
- (5) 修士課程出願資格①および博士後期課程の選考については、日本語能力を不問としています。ただし、本研究科における英語による授業の開講は限定的なものであり、全科目の履修を保証するものではありません。したがって、推薦者である本研究科専任教員と十分相談し、修了要件を満たせる履修計画が立てられることを確認の上、出願してください。

なお、本研究科では、日本語、英語以外の授業には対応していません。

正規留学生 大学院

社会学研究科（後期日程・協定締結校対象書類選考）、国際学研究科 書類審査方式 入学試験要項

大学院正規留学生とは、外国の国籍を有する者で、外国において所定の課程を履修し、大学院の修了を目的として入学する者です

出願資格

【社会学研究科修士課程】

出願資格

次の①から③のすべてに該当する者

- ① 外国の国籍を有する者で、学校教育における16年の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む^{*}）を修了した者（修了見込みの者）、または大学の学部と同等の教育機関を修了した者（修了見込みの者）
- ② 日本語能力試験1級またはN1に合格した者、またはそれに相当する日本語能力を有する者
- ③ 本学と交流協定を締結している機関から推薦を得た者、または本学専任教員の推薦を得た者
本学大学院社会学研究科留学生受け入れ協定を締結している機関から推薦を得た者（社会学研究科協定校対象書類選考）

【国際学研究科修士課程】

出願資格

<国際文化学専攻>

次の①から③のすべてに該当する者

- ① 外国の国籍を有する者で、学校教育における16年の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む^{*}）を修了した者（見込みの者）または大学の学部と同等の教育機関を修了した者（見込みの者）
- ② 日本語能力試験1級またはN1に合格した者
- ③ 本人の学歴、職歴ならびに予定されている研究内容に詳しい1名以上の推薦を得られる者
※国際文化学専攻へ出願する場合は、日本国外に居住している者に限ります。

<グローバルスタディーズ専攻>

次の①および②を満たしている者

- ① 外国の国籍を有する者で、学校教育における16年の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む^{*}）を修了した者（見込みの者）
- ② 本人の学歴、職歴ならびに予定されている研究内容に詳しい2名以上の推薦を得られる者（本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要）

<言語コミュニケーション専攻>

次の①および②を満たしている者

- ① 外国の国籍を有する者で、学校教育における16年の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む^{*}）を修了した者（見込みの者）
- ② 本人の学歴、職歴ならびに予定されている研究内容に詳しい1名以上の推薦を得られる者（本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要）
※言語コミュニケーション専攻へ出願する場合は、日本国外に居住している者に限ります。

【社会学研究科博士後期課程】

出願資格

次の①および②のすべてに該当する者

- ① 外国の国籍を有する者で、外国において所定の学校教育（原則として12年以上の課程^{*}）を修了（修了見込み含む）し、かつ高等教育機関で修士の学位を得た者（取得見込みの者）
- ② 本学と交流協定を締結している機関から推薦を得た者、または本学専任教員の推薦を得た者

【国際学研究科博士後期課程】

出願資格

<国際文化学専攻>

外国の国籍を有する者で、外国において所定の学校教育（原則として12年以上の課程^{*}）を修了（修了見込み含む）し、かつ、高等教育機関で修士の学位を得た者（取得見込みの者）

※国際文化学専攻へ出願する場合は、日本国外に居住している者に限ります。

<グローバルスタディーズ専攻>

次の①および②を満たしている者

- ① 外国の国籍を有する者で、外国において所定の学校教育（原則として12年以上の課程^{*}）を修了（修了見込み含む）し、かつ、高等教育機関で修士の学位を得た者（取得見込みの者）
- ② 本人の学歴、職歴ならびに予定されている研究内容に詳しい2名以上の推薦を得られる者

※「自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、日本の大学に入学するための準備教育課程（文部科学大臣指定）を修了した者」を含む。

入試スケジュール・選考方法

大学院		＜国内＝日本国内居住者、国外＝日本国外居住者＞								
募集研究科	課程	専攻	選考方法	出願期間 ※郵送に限ります。	合格発表	入学手続Ⅰ 入学時納入金の納入	入学手続Ⅱ 手続書類の提出			
社会学 研究科	修士課程	社会学専攻 社会福祉学専攻		国内・国外	国内：2018年 10月11日(木)～ 10月17日(水) 消印有効 国外：2018年 9月14日(金)～ 9月25日(火) 締切日必着	2018年 12月8日(土)	2018年 12月10日(月) } 12月14日(金) ※国外居住者は 12月21日(金)まで	2019年 2月8日(金) } 3月20日(水) 必着		
	博士後期課程									
国際学 研究科	修士課程	国際文化学専攻* 言語コミュニケーション専攻* グローバルスタディーズ専攻	出願書類 による 総合評価	国内・国外	国内：2019年 1月8日(火)～ 1月18日(金) 消印有効 国外：2018年 12月10日(月)～ 12月14日(金) 締切日必着	2019年 2月23日(土)	2019年 2月25日(月) } 3月1日(金) ※国外居住者は 3月8日(金)まで	2019年 2月25日(月) } 3月20日(水) 必着		
									博士後期課程	国際文化学専攻* グローバルスタディーズ専攻
	修士課程	国際文化学専攻* 言語コミュニケーション専攻* グローバルスタディーズ専攻								
		博士後期課程							国際文化学専攻* グローバルスタディーズ専攻	

※国外居住者のみ

出願書類

下記のうち特に説明のないものは22～23ページを参照。

(1) **入学願書** (本学所定用紙)

(2) **出願シート** (本学所定用紙)

写真の貼付が必要な箇所があります。写真は入学が許可された場合には、学生証や教務情報等に使用します。修了するまで使用するのに相応しい服装とします(制服以外が望ましい)。

※入学後、学生証の写真を変更する場合は、有償となります。

〈国際学研究科グローバルスタディーズ専攻または言語コミュニケーション専攻出願者の国外居住者〉

本学所定の英語対応用紙を提出してください。

(3) **卒業証明書・成績証明書** (いずれも原本)

卒業証明書・成績証明書については、以下のとおり提出してください。

修士課程出願者

① 出身大学の卒業証明書・成績証明書

※社会学研究科協定締結校対象入試に出願の場合、以下のとおり提出してください。

出身大学の卒業見込証明書あるいは在学証明書・成績証明書

※国際学研究科出願者で、修士・博士後期課程修了(見込)者は、修士・博士後期課程の修了(見込)証明書及び成績証明書、博士後期課程満期退学者は単位修得証明書も提出してください。

博士後期課程出願者

① 出身大学の卒業証明書・成績証明書

② 出身大学院修士課程の修了証明書・成績証明書

※国際学研究科出願者で、博士後期課程修了(見込)者は、博士後期課程の修了(見込)証明書及び成績証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位取得証明書も提出してください。

正規留学生
大学院社会学研究科・国際学研究科
書類審査方式

注意事項（修士課程・博士後期課程共通）

- ① 卒業（修了）見込の場合、**卒業（修了）見込証明書**を提出してください。その場合、卒業（修了）後、必ず卒業（修了）証明書を入学手続き時に提出してください。
- ② 成績証明書は、**在学期間全ての成績を証明したもの**を提出してください。
- ③ 中国の大学または大学院を卒業（修了）した場合、その卒業（修了）証明書に「中国高等教育学生信息网」（学信網）（<http://www.chsi.com.cn/xlzx/bgys.jsp>）へ登録してダウンロードした「教育部學歷証書電子注冊備案表」のPDFファイルを印刷したもの※1を添付してください。
中国の大学または大学院を卒業（修了）見込みの場合、その卒業（修了）見込証明書に「中国高等教育学生信息网」（学信網）（<http://www.chsi.com.cn/xlzx/bgys.jsp>）へ登録してダウンロードした「教育部学籍在線驗証報告」のPDFファイルを印刷したもの※2を添付してください。
※1または※2の書類を提出できない場合は、「公証書」（政府機関等が正式なものとして認めた証明書。ただし、中国国内で発行されたものに限る）を提出してください。日本国内の領事館で発行されたものは認められません。
- ④ 日本語または英語以外で書かれている場合は、駐日外国公館・在外公館等の公的機関による法定翻訳または在籍校（日本語学校を含む）による公印つき翻訳（日本語または英語）を添付してください。
- ⑤ 証明書の**コピーは一切不可**です。但し1年以内に社会学研究科を受験し、すでに証明書に公証書を提出している社会学研究科出願者は、コピーを提出できます。

(4) 語学に関する書類

[社会学研究科]

- 「日本語能力試験」の1級またはN1の合格を示した「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」、または出願者の日本語能力に詳しい教員が作成した1級またはN1と同等の能力を示す日本語能力認定書（本学所定用紙）

[国際学研究科]

修士課程へ出願する場合（国際文化学・言語コミュニケーション専攻出願者のみ）

- 「日本語能力試験」の1級またはN1の合格を示した「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」
- 博士後期課程へ出願する場合（国際文化学専攻出願者のみ）
- 英語・日本語のうち、いずれかの言語の能力を証明するもの。
- ※国籍に関わらず、どちらの言語も選択できます。

(5) 英語力を示す外部テストのスコア（国際学研究科言語コミュニケーション専攻・グローバルスタディーズ専攻出願者）

修士課程言語コミュニケーション・グローバルスタディーズ専攻出願者は、TOEIC L&R 730点、TOEFL（PBT）550点、または（iBT）80点、IELT6.0のいずれかを満たすスコアを提出してください。

国際学研究科博士後期課程グローバルスタディーズ専攻出願者は、TOEFL®（PBT）600点または（iBT）100点、IELTS™6.5のいずれかを満たすスコアを提出してください。

※TOEIC L&RおよびTOEFL（PBT、iBT）については、外部テストの試験日が、本学出願締切日から過去2年以内のものに限ります（本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要。また、第一言語が英語の者、卒業（見込み）の高等教育における学習言語が英語の者は必要ありません）。

(6) 推薦書（本学所定用紙 様式B）※国際学研究科出願者は様式自由

[社会学研究科]

修士課程出願資格③または博士後期課程出願資格②に該当する本学と交流協定を締結している機関長によるものと、出願者の学力に詳しい教員によるものの両方。なお、本学の専任教員推薦の場合は機関長の推薦書は不要。

[社会学研究科（協定締結校）]

修士課程出願資格③に該当する留学生受け入れ協定を締結している機関長によるものと、出願者の学力に詳しい教員によるものの両方。推薦書（本学所定用紙）は1部コピーして使用してください。

※推薦書は本学WEBサイト（<http://www.ryukoku.ac.jp/admission/nyushi/foreign/>）よりダウンロードが可能です。

[国際学研究科]

- ・ 修士課程／国際文化学・言語コミュニケーション^{*1}専攻
推薦書1名分（様式自由）
本人の学歴、職歴、ならびに予定されている研究内容に詳しい者が作成すること。
 - ・ 修士課程／グローバルスタディーズ専攻^{*1}
推薦書2名分（様式自由）
本人の学歴、職歴、ならびに予定されている研究内容に詳しい者が作成すること。
 - ・ 博士後期課程／国際文化学・グローバルスタディーズ専攻
推薦書2名分（様式自由）
本人の学歴、職歴、ならびに予定されている研究内容に詳しい者が作成すること。
- ※1 本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要

(7) 出願票（本学所定用紙）（国際学研究科出願者のみ。ただし、修士課程言語コミュニケーション・グローバルスタディーズ専攻出願者のうち、本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要）

(8) **住民票の写し**

日本国内居住者のみ提出してください。試験実施日が在留期間満了日より前であるものに限ります。また、「国籍」「在留資格」「在留期間」「在留期間の満了日」「在留カード番号」が記載されるよう、発行元に依頼してください。
※世帯については「世帯全員」「世帯一部」のどちらを選択しても構いません。

(9) **研究計画書（本学所定用紙）**

国際学研究科は以下の提出条件にしたがってください。

[修士課程]

- ・国際文化学専攻……………日本語1部（本学所定用紙）
- ・グローバルスタディーズ専攻…英語1部（本学所定の英語対応用紙）希望指導教員の記入は不要です。
- ・言語コミュニケーション専攻…日本語および英語各1部（本学所定の日本語および英語対応用紙）
希望者指導教員（第一、第二希望）を記入してください。

[博士後期課程]

- ・国際文化学専攻……………日本語1部（本学所定用紙）
- ・グローバルスタディーズ専攻…英語1部（本学所定の英語対応用紙）

(10) **論文・論文要旨等（様式自由）**

修士課程出願者

- ①大学の卒業論文・卒業研究（未完成の場合は、現在作成中のもの）、またはこれまでに作成した学術的なレポートを1点（コピー）
※社会学研究科または国際学研究科国際文化学専攻出願者で、提出する卒業論文等が日本語以外の場合は、日本語の要旨（800字程度）を併せて提出してください。
※国際学研究科言語コミュニケーション専攻出願者は、日本語または英語に限ります。
※国際学研究科グローバルスタディーズ専攻出願者は、英語に限ります。

博士後期課程出願者

〈社会学研究科・国際学研究科国際文化学専攻出願者〉

次の①および②を提出すること

- ①修士論文（コピー）2部

なお、修士論文がない場合は、これに準じる論文または著作物

- ②修士論文要旨を次の要領にて提出すること。（修士論文がない場合も、これに準じる要旨を提出すること）

日本語の修士論文の場合は、英語（400words程度）による要旨

日本語以外の修士論文の場合は、日本語（800字程度）、または、英語（400words程度）

〈国際学研究科グローバルスタディーズ専攻出願者〉

大学院修士課程において作成した英語による修士論文（未完成の場合は、現在作成中の物）、またはこれまでに作成した学術的な英文レポートを1点（文字数制限なし）

卒業・修士論文（コピー）は、仮綴じまたはファイルしたものを提出してください。

卒業・修士論文（コピー）や研究論文等の出願書類が本学所定の出願用封筒に封入できない場合は、本学所定の出願用封筒の様式に沿って、市販の封筒にて出願期間に簡易書留・速達で郵送してください。

出願上の注意事項

- (1) 出願書類は返却しません。ただし、出身学校等において再発行できない書類に限り、原則として合格発表日以降に返却します。
- (2) 出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には可否判定の対象としません。
- (3) 合格発表後に出願書類および入学手続書類等に虚偽の記載のあることが明らかになった場合には、入学許可を取り消します。
- (4) 書類審査方式は入学前に出願者の学力を十分に審査できるものではないので、入学後に大学院生としての学力不足が明らかになった場合は「退学勧告」をすることもあります。出願者はこのことを熟慮の上、出願してください。（国際文化学研究科のみ）

特別留学生 学科試験方式 入学試験要項

特別留学生とは、外国の国籍を有する者で、学部・研究科において特定の科目を履修する目的で入学する者です

出願資格

(文・法・政策・国際・短期大学部)

正規留学生に準じます。

詳細は、大学への出願者は12ページ、大学院への出願者は19ページ参照。

政策学部へ出願する場合は、上記と併せて「日本語能力試験」(公益財団法人日本国際教育支援協会/国際交流基金) 2級またはN2に合格している者に限ります。

(経済・経営学部)

大学を卒業した者(卒業見込みの者)で大学院進学希望者に限ります。

同学部特別留学生として在学した者の再出願は認めません。

経営学部へ出願する場合は、上記と併せて「日本語能力試験」(公益財団法人日本国際教育支援協会/国際交流基金) 1級またはN1に合格している者に限ります。

入試スケジュール・選考方法

選考方法	1次審査(受験資格審査)および2次審査(学科試験・面接)を実施します。
------	-------------------------------------

特別留学生		<国内=日本国内居住者、国外=日本国外居住者>					
募集学部(学科)・研究科	出願期間 ※郵送に限ります。	1次審査 結果通知日	2次審査日	合格発表	入学手続Ⅰ 入学時納入金の納入	入学手続Ⅱ 手続書類の提出	
学部 文学部 経済学部 経営学部 法学部 政策学部 国際学部国際文化学科 短期大学部	国内: 2018年 10月11日(木)~ 10月17日(水) 締切日消印有効 国外: 2018年 9月14日(金)~ 9月25日(火) 締切日必着	国内: 2次審査日の 約1週間前 国外: 出願締切日から 約3週間後	2018年 11月24日(土)	2018年 12月8日(土)	2018年 12月10日(月) ? 12月14日(金) ※国外居住者は 12月21日(金)まで	2019年 2月8日(金) ? 3月20日(水) 必着	
修士課程 文学研究科 法学研究科 社会学研究科 実践真宗学研究科							

1次審査内容(受験資格審査)

審査内容	正規留学生に準じます。 大学への出願者は13ページ、大学院への出願者は20ページ参照。
結果通知	正規留学生に準じます。 大学への出願者は13ページ、大学院への出願者は20ページ参照。

2次審査内容

試験科目 試験時間 試験会場	学部	試験会場	説明	小論文	面接
	文学部	龍谷大学 深草キャンパス	8:40～9:00	_____	9:00～
	経済学部			9:00～10:00	10:30～
	法学部		10:10～10:30	_____	10:30～
	政策学部		10:20～10:30	_____	
	国際学部 国際文化学科		10:10～10:30	_____	
	短期大学部			_____	
	学部	試験会場	説明	小論文 (日本語による専門科目筆答)	面接
	経営学部	龍谷大学 深草キャンパス	8:40～9:00	9:00～10:00	10:20～
	修士課程	試験会場	説明	口述試験	
文学研究科	龍谷大学	12:55～13:15	13:15～		
法学研究科	深草キャンパス	10:25～10:45	10:45～		
社会学研究科	龍谷大学 瀬田キャンパス	12:10～12:30	12:30～		
実践真宗学研究科	龍谷大学 深草キャンパス	12:55～13:15	13:15～*		
<small>※専門科目（真宗学）を主としたもの 試験室は当日掲示します。 試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。</small>					
合否判定	上記試験および出願書類を総合して、合否を判定します。				

出願書類 出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には受験できません。

正規留学生に準じます。

詳細は、大学への出願の場合14～15ページ、大学院へ出願の場合22～23ページ参照。

出願学部	文学部	経済学部	経営学部	法学部	政策学部	国際学部 国際文化学科	短期大学部
(1)入学願書							
(2)出願シート	○	○	○	○	○	○	○
(3)高等学校の卒業証明書・成績証明書	○	○	○	○	○	○	○
(8)住民票の写し							
(4)「日本留学試験」(日本学生支援機構)の受験票(または成績通知書)の写し	○	×	×	×	×	○	○
(7)推薦書 様式A	×	○	×	×	×	○	×
大学の卒業証明書/卒業見込証明書・成績証明書	×	○	○	×	×	×	×
「日本語能力試験」(公益財団法人日本国際教育支援協会/国際交流基金)の「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」	×	○ ※1級またはN1の合否を示すもの	○ ※1級またはN1の合格を示すもの	○ ※1級またはN1の合否を示すもの	○ ※2級またはN2の合格を示すもの	○ ※1級またはN1の合否を示すもの	×

文学研究科及び実践真宗学研究科へ出願する場合は、試験科目選択シートの提出は不要です。

在籍期間・履修単位数

特別留学生の在籍期間は1年間です。

文学部、経済学部、経営学部、 法学部、政策学部、 国際学部国際文化学科、短期大学部	32単位(前期16単位・後期16単位)以上
文学研究科、実践真宗学研究科	32単位以上

特別留学生 大学院社会学研究科 書類審査方式 入学試験要項

特別留学生とは、外国の国籍を有する者で、研究科において特定の科目を履修する目的で入学する者です。

出願資格

【修士課程】

次の①から③のすべてに該当する者

- ① 外国の国籍を有する者で、学校教育における16年の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む*）を修了した者（修了見込みの者）、または大学の学部と同等の教育機関を修了した者（修了見込みの者）
- ② 日本語能力試験1級またはN1に合格した者、または同等の日本語能力を有する者
- ③ 本学と交流協定を締結している機関から推薦を得た者、または本学専任教員の推薦を得た者

※「自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、日本の大学に入学するための準備教育課程（文部科学大臣指定）を修了した者」を含む。

入試スケジュール・選考方法

募集研究科	課 程	選考方法	出願期間 ※郵送に限ります。	合格発表	入学手続Ⅰ 入学時納入金の納入	入学手続Ⅱ 手続書類の提出	
社会学研究科	修 士 課 程	出願書類による 総合評価	国内	2019年 1月8日(火) ～1月18日(金) 締切日消印有効	2019年 2月23日(土)	2019年 2月25日(月) ～ 3月1日(金) ※国外居住者は 3月8日(金)まで	2019年 2月25日(月) ～ 3月20日(水) 必着
			国外	2018年 12月10日(月) ～12月14日(金) 締切日必着			

出願書類 出願書類に不備や虚偽があった場合には受験できません。

下記のうち特に説明のないものは22～23ページを参照。

(1) **入学願書** (本学所定用紙)

(2) **出願シート** (本学所定用紙)

写真の貼付が必要な箇所があります。写真は入学が許可された場合には、学生証や教務情報等に使用します。卒業するまで使用するのに相応しい服装とします(制服以外が望ましい)。
※入学後、学生証の写真を書き換える場合は、有償となります。

(3) **出身大学の卒業証明書・成績証明書** (いずれも原本)

注意事項

- ① 卒業(修了)見込の場合、**卒業(修了)見込証明書を提出**してください。その場合、卒業(修了)後、必ず卒業(修了)証明書を入学手続き時に提出してください。
- ② 成績証明書は、**在学期間全ての成績を証明したものを提出**してください。
- ③ 中国の大学または大学院を卒業(修了)した場合、その卒業(修了)証明書に「中国高等教育学生信息网」(学信網) (<http://www.chsi.com.cn/xlzx/bgys.jsp>)へ登録してダウンロードした「教育部學歷證書電子注冊備案表」のPDFファイルを印刷したもの※1を添付してください。
中国の大学または大学院を卒業(修了)見込みの場合、その卒業(修了)見込証明書に「中国高等教育学生信息网」(学信網) (<http://www.chsi.com.cn/xlzx/bgys.jsp>)へ登録してダウンロードした「教育部学籍在線驗證報告」のPDFファイルを印刷したもの※2を添付してください。
※1または※2の書類を提出できない場合は、「公証書」(政府機関等が正式なものと認めた証明書。ただし、中国国内で発行されたものに限る)を提出してください。日本国内の領事館で発行されたものは認められません。
- ④ 日本語または英語以外で書かれている場合は、駐日外国公館・在外公館等の公的機関による法定翻訳または在籍校(日本語学校を含む)による公印つき翻訳(日本語または英語)を添付してください。
- ⑤ 証明書のコピーは一切不可です。

(4) **語学に関する書類**

「日本語能力試験」の1級またはN1の合格を示した「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」、または出願者の日本語能力に詳しい教員が作成した1級またはN1と同等の能力を示す日本語能力認定書(本学所定用紙)

(5) **推薦書** (本学所定用紙 様式B)

修士課程出願資格③に該当する本学と交流協定を締結している機関長によるものと、出願者の学力に詳しい教員によるものの両方。なお、本学の専任教員推薦の場合は機関長の推薦書は不要。

※推薦書は本学WEBサイト (<http://www.ryukoku.ac.jp/admission/nyushi/foreign/>) よりダウンロードが可能です。

(6) **住民票の写し**

日本国内居住者のみ提出してください。**試験実施日が在留期間満了日より前であるもの**に限ります。また、「国籍」「在留資格」「在留期間」「在留期間の満了日」「在留カード番号」が記載されるよう、発行元に依頼してください。
※世帯については「世帯全員」「世帯一部」のどちらを選択しても構いません。

(7) **研究計画書** (本学所定用紙)

(8) **論文・論文要旨等**

大学の卒業論文・卒業研究(未完成の場合は、現在作成中のもの)、またはこれまでに作成した学術的なレポートを1点(コピー)

出願上の注意事項

- (1) 出願書類は返却しません。ただし、出身学校等において再発行できない書類に限り、原則として合格発表日以降に返却します。
- (2) 出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には合否判定の対象としません。
- (3) 合格発表後に出願書類および入学手続書類等に虚偽の記載のあることが明らかになった場合には、入学許可を取り消します。
- (4) 入学後に研究科の特別留学生としての学力不足が明らかになった場合は「退学勧告」をすることもあります。
出願者はこのことを熟慮の上、出願してください。

在籍期間・履修単位数

特別留学生の在籍期間は1年間です。

社会学研究科	32単位以上
--------	--------

学費・諸会費

2019年度入学者の学費および諸会費の予定額は以下のとおりです。2019年度学費は9月に決定しますので、決定後の金額については、9月に公表する大学ホームページおよび合格通知書に同封する書類でご確認ください。
入学手続期間に入学時納入金（特別留学生は許可料および科目等履修料）を一括納入してください。

1. 正規留学生

1) 大学1年次入学生・3年次編転入学生

「龍谷大学外国人（留学生）学費援助奨学生」の資格（41ページ参照）を有している私費外国人留学生は、下記の授業料が40%減免されます。

●学費

（単位：円）

	文学部※4 経済学部 経営学部	法学部	政策学部	国際学部			農学部					短期大学部		3年次編転入学生		
				国際文化 学 科	理工学部	社会学部	植物生命科学科 資源生物科学科	食品栄養 学 科	食料農業 システム学科	社会福祉 学 科	こども教育 学 科	文学部 経済学部 経営学部 法学部	政策学部	国際学部 国際文化学科		
入学金 ※1	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	100,000 ※5	100,000 ※5	100,000 ※5
前期授業料	380,500	380,500	380,500	403,000	489,500	380,500	489,500	489,500	489,500	489,500	398,000	408,000	380,500	380,500	388,000	
前期施設費 ※2 ※3	30,000	30,000	30,000	30,000	70,000	30,000	95,000	120,000	30,000	30,000	35,000	130,000	130,000	125,000		
前期実験実習料・実習料	—	—	7,500	5,000	71,800	17,950	71,800	96,800	17,950	27,450	27,450	—	7,500	5,000		
前期留学実習料	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
小計（入学時納入金）	610,500	610,500	618,000	638,000	831,300	628,450	856,300	906,300	737,450	655,450	670,450	610,500	618,000	618,000		
後期授業料	380,500	380,500	380,500	403,000	489,500	380,500	489,500	489,500	489,500	398,000	408,000	380,500	380,500	388,000		
後期施設費 ※2 ※3	30,000	30,000	30,000	30,000	70,000	30,000	95,000	120,000	30,000	30,000	35,000	130,000	130,000	125,000		
後期実験実習料・実習料	—	—	7,500	5,000	71,800	17,950	71,800	96,800	17,950	27,450	27,450	—	7,500	5,000		
後期留学実習料	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
小計（後期納入金）	410,500	410,500	418,000	438,000	631,300	428,450	656,300	706,300	537,450	455,450	470,450	510,500	518,000	518,000		
合計（初年度納入金）	1,021,000	1,021,000	1,036,000	1,076,000	1,462,600	1,056,900	1,512,600	1,612,600	1,274,900	1,110,900	1,140,900	1,121,000	1,136,000	1,136,000		

※1. 入学金は入学年度のみ納入していただきます。

※2. 施設費は、文系学部（短期大学部を除く）の場合は、年間260,000円、理工学部の場合は、年間340,000円、農学部の場合は、植物生命科学科・資源生物科学科は年間390,000円、食品栄養学科は年間440,000円、食料農業システム学科は年間260,000円ですが、入学時の学費負担軽減を図るため、入学初年度（1年次）は、年間200,000円を減免しています。

※3. 施設費は、短期大学部の場合は、社会福祉学科は年間360,000円、こども教育学科は年間370,000円ですが、入学時の学費負担軽減を図るため、入学初年度（1年次）は、年間300,000円を減免しています。

※4. 文学部歴史学科文化遺産学専攻は実習料として、前期17,950円、後期17,950円を納入していただきます。

※5. 本学学部・短期大学部出身者は、入学金は不要です。

●諸会費

（単位：円）

	文学部 経済学部 経営学部	法学部	政策学部	国際学部			農学部					短期大学部		3年次編転入学生	
				国際文化 学 科	理工学部	社会学部	植物生命科学科 資源生物科学科	食品栄養 学 科	食料農業 システム学科	社会福祉 学 科	こども教育 学 科	文学部 経済学部 経営学部	法学部 政策学部 国際学部 国際文化学科		
諸会費（入学時納入金）	31,500	32,500	32,500	32,500	31,500	30,500	31,500	31,500	31,500	31,500	31,500	31,500	31,500	31,500	32,500
諸会費（後期納入金）	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
合計（初年度納入金）	33,000	34,000	34,000	34,000	33,000	32,000	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000	34,000

注) 諸会費の内訳について

(1) 諸会費は、学会・学友会・親和会・校友会からの委託徴収金です。

(2) 各学部等には、それぞれの学術研究の推進のために、専任教員、大学院生、学部学生等で構成する学会を設けています。その学会の会費として、入会金2,000円（社会学部を除く）、学会費〔文学部・経済学部・経営学部・理工学部・農学部・短期大学部それぞれ年間3,000円、法学部・政策学部・国際学部・社会学部それぞれ年間4,000円〕を納入していただきます。

(3) 学友会は、全ての学生によって構成され、学生の声を反映させながら学生生活の改善・向上に取り組んでいる学生自治会です。その会費として、入会金4,500円、学友会費年間3,500円（前期2,000円、後期1,500円）を納入していただきます。

(4) 親和会は、学生の保護者をもって構成され、龍谷大学の発展に資し、あわせて会員相互の親睦を図ることを目的としています。その会費として、入会金3,000円、親和会費年間7,000円を納入していただきます。

(5) 校友会は、龍谷大学および短期大学部を卒業した人等で、組織されています。終身会費として、40,000円納入していただくことが必要ですが、この会費のうち、10,000円を入学時に予納していただくものです。残額については、卒業年次に納入していただきます。

●納入金総額

（単位：円）

	文学部※4 経済学部 経営学部	法学部	政策学部	国際学部			農学部					短期大学部		3年次編転入学生		
				国際文化 学 科	理工学部	社会学部	植物生命科学科 資源生物科学科	食品栄養 学 科	食料農業 システム学科	社会福祉 学 科	こども教育 学 科	文学部 経済学部 経営学部	法学部	政策学部 国際学部 国際文化学科		
入学時納入金合計	642,000	643,000	650,500	670,500	862,800	658,950	887,800	937,800	768,950	686,950	701,950	642,000	643,000	650,500		
後期納入金合計	412,000	412,000	419,500	439,500	632,800	429,950	657,800	707,800	538,950	456,950	471,950	512,000	512,000	519,500		
総計（初年度納入金）	1,054,000	1,055,000	1,070,000	1,110,000	1,495,600	1,088,900	1,545,600	1,645,600	1,307,900	1,143,900	1,173,900	1,154,000	1,155,000	1,170,000		

注：後期納入金は、9月末日を納入期限としています。納入用紙は、9月上旬に経理課から郵送いたします。

2) 大学院修士課程入学生

「龍谷大学外国人(留学生)学費援助奨学生」の資格(41ページ参照)を有している私費外国人留学生は、下記の授業料が40%減免されます。

(1) 文学・経済学・経営学研究科 修士課程

●学費

(単位:円)

		他大学出身者	本学学部出身者	本学研究科の課程出身者
学 費	入 学 金	200,000	150,000	—
	前 期 授 業 料	181,500	181,500	181,500
	前 期 施 設 費	100,000	75,000	75,000
	小計(入学時納入金)	481,500	406,500	256,500
	後 期 授 業 料	181,500	181,500	181,500
	後 期 施 設 費	100,000	75,000	75,000
	小計(後期納入金)	281,500	256,500	256,500
合計(初年度納入金)	763,000	663,000	513,000	

文学研究科臨床心理学専攻の入学生は、実験実習料(前期)50,000円、(後期)50,000円を必要とします。

●諸会費

(単位:円)

		他大学出身者	本学学部出身者	本学研究科の課程出身者
諸 会 費	学 会 入 会 金	2,000	—	—
	学 会 費	3,000	3,000	3,000
	院 生 会 費	1,000	1,000	1,000
	親 和 会 入 会 金	3,000	—	—
	親 和 会 費	7,000	7,000	7,000
	校 友 会 予 納 金	10,000	—	—
	合計(入学時納入金)	26,000	11,000	11,000

注1. 諸会費は、学会、院生会、親和会、校友会からの委託徴収金です。後期納入金はありません。

2. 本学出身者のうち当該学部・研究科出身者以外の入学生は学会入会金2,000円を必要とします。ただし、経済学会・経営学会については、相互出身の場合、学会入会金2,000円は不要です。また、実践真宗学研究科出身で文学研究科に入学する場合、学会入会金2,000円は不要です。

3. 校友会費(30,000円)は他大学出身者のみ修士課程2年次に納入していただきます。

●納入金総額

(単位:円)

		他大学出身者	本学学部出身者	本学研究科の課程出身者
入学時納入金合計		507,500	417,500	267,500
後期納入金合計		281,500	256,500	256,500
総計(初年度納入金)		789,000	674,000	524,000

後期納入金は、9月末日を納入期限としています。納入用紙は、9月上旬に経理課から郵送いたします。

(2) 法学・社会学・国際学・政策学研究科 修士課程

●学費

(単位:円)

		他大学出身者	本学学部出身者	本学研究科の課程出身者
学 費	入 学 金	200,000	150,000	—
	前 期 授 業 料	181,500	181,500	181,500
	前 期 施 設 費	100,000	75,000	75,000
	小計(入学時納入金)	481,500	406,500	256,500
	後 期 授 業 料	181,500	181,500	181,500
	後 期 施 設 費	100,000	75,000	75,000
	小計(後期納入金)	281,500	256,500	256,500
合計(初年度納入金)	763,000	663,000	513,000	

●諸会費

(単位:円)

		他大学出身者	本学学部出身者	本学研究科の課程出身者
諸 会 費	学 会 入 会 金	2,000	—	—
	学 会 費	4,000	4,000	4,000
	院 生 会 費	1,000	1,000	1,000
	親 和 会 入 会 金	3,000	—	—
	親 和 会 費	7,000	7,000	7,000
	校 友 会 予 納 金	10,000	—	—
	合計(入学時納入金)	27,000	12,000	12,000

注1. 諸会費は、学会、院生会、親和会、校友会からの委託徴収金です。後期納入金はありません。

2. 本学出身者のうち当該学部・研究科出身者以外の入学生は学会入会金2,000円を必要とします。また、社会学研究科については、学会入会金2,000円は不要です。

3. 校友会費(30,000円)は他大学出身者のみ修士課程2年次に納入していただきます。

●納入金総額

(単位:円)

		他大学出身者	本学学部出身者	本学研究科の課程出身者
入学時納入金合計		508,500	418,500	268,500
後期納入金合計		281,500	256,500	256,500
総計(初年度納入金)		790,000	675,000	525,000

後期納入金は、9月末日を納入期限としています。納入用紙は、9月上旬に経理課から郵送いたします。

(3) 理工学研究科 修士課程

●学費

(単位：円)

		他 大 学 出 身 者	本 学 学 部 出 身 者	本 学 研 究 科 の 課 程 出 身 者
学 費	入 学 金	200,000	150,000	—
	前 期 授 業 料	235,500	235,500	235,500
	前 期 施 設 費	140,000	105,000	105,000
	前 期 実 験 実 習 料	71,800	71,800	71,800
	小 計 (入 学 時 納 入 金)	647,300	562,300	412,300
	後 期 授 業 料	235,500	235,500	235,500
	後 期 施 設 費	140,000	105,000	105,000
	後 期 実 験 実 習 料	71,800	71,800	71,800
	小 計 (後 期 納 入 金)	447,300	412,300	412,300
合 計 (初 年 度 納 入 金)	1,094,600	974,600	824,600	

●諸会費

(単位：円)

		他 大 学 出 身 者	本 学 学 部 出 身 者	本 学 研 究 科 の 課 程 出 身 者
諸 会 費	学 会 入 会 金	2,000	—	—
	学 会 費	3,000	3,000	3,000
	院 生 会 費	1,000	1,000	1,000
	親 和 会 入 会 金	3,000	—	—
	親 和 会 費	7,000	7,000	7,000
	校 友 会 予 納 金	10,000	—	—
	合 計 (入 学 時 納 入 金)	26,000	11,000	11,000

- 注1. 諸会費は、学会、院生会、親和会、校友会からの委託徴収金です。後期納入金はありません。
2. 本学出身者のうち理工学部・理工学研究科出身者以外の入学生は学会入会金2,000円を必要とします。
3. 校友会費 (30,000円) は他大学出身者のみ修士課程2年次に納入していただきます。

●納入金総額

(単位：円)

		他 大 学 出 身 者	本 学 学 部 出 身 者	本 学 研 究 科 の 課 程 出 身 者
入 学 時 納 入 金 合 計		673,300	573,300	423,300
後 期 納 入 金 合 計		447,300	412,300	412,300
総 計 (初 年 度 納 入 金)		1,120,600	985,600	835,600

後期納入金は、9月末日を納入期限としています。納入用紙は、9月上旬に経理課から郵送いたします。

(4) 実践真宗学研究科 修士課程

●学費

(単位：円)

		他 大 学 出 身 者	本 学 学 部 出 身 者	本 学 研 究 科 の 課 程 出 身 者
学 費	入 学 金	200,000	150,000	—
	前 期 授 業 料	275,000	275,000	275,000
	前 期 施 設 費	100,000	75,000	75,000
	前 期 実 験 実 習 料	75,000	75,000	75,000
	小 計 (入 学 時 納 入 金)	650,000	575,000	425,000
	後 期 授 業 料	275,000	275,000	275,000
	後 期 施 設 費	100,000	75,000	75,000
	後 期 実 験 実 習 料	75,000	75,000	75,000
	小 計 (後 期 納 入 金)	450,000	425,000	425,000
合 計 (初 年 度 納 入 金)	1,100,000	1,000,000	850,000	

●諸会費

(単位：円)

		他 大 学 出 身 者	本 学 学 部 出 身 者	本 学 研 究 科 の 課 程 出 身 者
諸 会 費	学 会 入 会 金	2,000	—	—
	学 会 費	3,000	3,000	3,000
	院 生 会 費	1,000	1,000	1,000
	親 和 会 入 会 金	3,000	—	—
	親 和 会 費	7,000	7,000	7,000
	校 友 会 予 納 金	10,000	—	—
	合 計 (入 学 時 納 入 金)	26,000	11,000	11,000

- 注1. 諸会費は、学会、院生会、親和会、校友会からの委託徴収金です。後期納入金はありません。
2. 本学出身者のうち文学部・文学研究科出身者以外の入学生は、学会入会金2,000円を必要とします。
3. 校友会費 (30,000円) は他大学出身者のみ修士課程3年次に納入していただきます。

●納入金総額

(単位：円)

		他 大 学 出 身 者	本 学 学 部 出 身 者	本 学 研 究 科 の 課 程 出 身 者
入 学 時 納 入 金 合 計		676,000	586,000	436,000
後 期 納 入 金 合 計		450,000	425,000	425,000
総 計 (初 年 度 納 入 金)		1,126,000	1,011,000	861,000

後期納入金は、9月末日を納入期限としています。納入用紙は、9月上旬に経理課から郵送いたします。

(5) 農学研究科 修士課程

●学費

(単位：円)

		他 大 学 出 身 者	本 学 学 部 出 身 者	本 学 研 究 科 の 課 程 出 身 者
学 費	入 学 金	200,000	150,000	—
	前 期 授 業 料	235,500	235,500	235,500
	前 期 施 設 費	160,000	120,000	120,000
	前 期 実 験 実 習 料	81,800	81,800	81,800
	小 計 (入 学 時 納 入 金)	677,300	587,300	437,300
	後 期 授 業 料	235,500	235,500	235,500
	後 期 施 設 費	160,000	120,000	120,000
	後 期 実 験 実 習 料	81,800	81,800	81,800
	小 計 (後 期 納 入 金)	477,300	437,300	437,300
合 計 (初 年 度 納 入 金)	1,154,600	1,024,600	874,600	

●諸会費

(単位：円)

		他 大 学 出 身 者	本 学 学 部 出 身 者	本 学 研 究 科 の 課 程 出 身 者
諸 会 費	学 会 入 会 金	2,000	—	—
	学 会 費	3,000	3,000	3,000
	院 生 会 費	1,000	1,000	1,000
	親 和 会 入 会 金	3,000	—	—
	親 和 会 費	7,000	7,000	7,000
	校 友 会 予 納 金	10,000	—	—
	合 計 (入 学 時 納 入 金)	26,000	11,000	11,000

- 注1. 諸会費は、学会、院生会、親和会、校友会からの委託徴収金です。後期納入金はありません。
 2. 本学出身者のうち農学部・農学研究科出身者以外の入学生は学会入会金2,000円を必要とします。
 3. 校友会費 (30,000円) は他大学出身者のみ修士課程2年次に納入していただきます。

●納入金総額

(単位：円)

		他 大 学 出 身 者	本 学 学 部 出 身 者	本 学 研 究 科 の 課 程 出 身 者
入 学 時 納 入 金 合 計		703,300	598,300	448,300
後 期 納 入 金 合 計		477,300	437,300	437,300
総 計 (初 年 度 納 入 金)		1,180,600	1,035,600	885,600

後期納入金は、9月末日を納入期限としています。納入用紙は、9月上旬に経理課から郵送いたします。

3) 大学院博士後期課程入学生

「龍谷大学外国人(留学生)学費援助奨学生」の資格(41ページ参照)を有している私費外国人留学生は、下記の授業料が40%減免されます。

(1) 文学・経済学・経営学研究科 博士後期課程

●学費

(単位：円)

		他 大 学 修 士 課 程 出 身 者	本 学 学 部 出 身 者	本 学 研 究 科 の 課 程 出 身 者
学 費	入 学 金	200,000	150,000	—
	前 期 授 業 料	181,500	181,500	181,500
	前 期 施 設 費	100,000	75,000	75,000
	小 計 (入 学 時 納 入 金)	481,500	406,500	256,500
	後 期 授 業 料	181,500	181,500	181,500
	後 期 施 設 費	100,000	75,000	75,000
	小 計 (後 期 納 入 金)	281,500	256,500	256,500
合 計 (初 年 度 納 入 金)	763,000	663,000	513,000	

●諸会費

(単位：円)

		他 大 学 修 士 課 程 出 身 者	本 学 学 部 出 身 者	本 学 研 究 科 の 課 程 出 身 者
諸 会 費	学 会 入 会 金	2,000	—	—
	学 会 費	3,000	3,000	3,000
	院 生 会 費	1,000	1,000	1,000
	親 和 会 入 会 金	3,000	—	—
	親 和 会 費	7,000	7,000	7,000
	校 友 会 予 納 金	10,000	—	—
	合 計 (入 学 時 納 入 金)	26,000	11,000	11,000

- 注1. 諸会費は、学会、院生会、親和会、校友会からの委託徴収金です。後期納入金はありません。
 2. 本学出身者のうち当該学部・研究科出身者以外の入学生は学会入会金2,000円を必要とします。ただし、経済学会・経営学会については、相互出身の場合、学会入会金2,000円は不要です。また、実践真宗学研究科出身で文学研究科に入学する場合、学会入会金2,000円は不要です。
 3. 校友会費 (30,000円) は他大学出身者のみ博士後期課程3年次に納入していただきます。

●納入金総額

(単位：円)

	他大学修士課程出身者	本学学部出身者	本学研究科の課程出身者
入学時納入金合計	507,500	417,500	267,500
後期納入金合計	281,500	256,500	256,500
総計(初年度納入金)	789,000	674,000	524,000

後期納入金は、9月末日を納入期限としています。納入用紙は、9月上旬に経理課から郵送いたします。

(2) 法学・社会学・国際学・政策学研究科 博士後期課程

●学費

(単位：円)

	他大学修士課程出身者	本学学部出身者	本学研究科の課程出身者
学費	入学金	200,000	150,000
	前期授業料	181,500	181,500
	前期施設費	100,000	75,000
	小計(入学時納入金)	481,500	406,500
	後期授業料	181,500	181,500
	後期施設費	100,000	75,000
	小計(後期納入金)	281,500	256,500
合計(初年度納入金)	763,000	663,000	513,000

●諸会費

(単位：円)

	他大学修士課程出身者	本学学部出身者	本学研究科の課程出身者
諸会費	学会入会金	2,000	—
	学会費	4,000	4,000
	院生会費	1,000	1,000
	親和会入会金	3,000	—
	親和会費	7,000	7,000
	校友会予納金	10,000	—
合計(入学時納入金)	27,000	12,000	12,000

- 注1. 諸会費は、学会、院生会、親和会、校友会からの委託徴収金です。後期納入金はありません。
 2. 本学出身者のうち当該学部・研究科出身者以外の入学生は学会入会金2,000円を必要とします。また、社会学研究科については、学会入会金2,000円は不要です。
 3. 校友会費(30,000円)は他大学出身者のみ博士後期課程3年次に納入していただきます。

●納入金総額

(単位：円)

	他大学修士課程出身者	本学学部出身者	本学研究科の課程出身者
入学時納入金合計	508,500	418,500	268,500
後期納入金合計	281,500	256,500	256,500
総計(初年度納入金)	790,000	675,000	525,000

後期納入金は、9月末日を納入期限としています。納入用紙は、9月上旬に経理課から郵送いたします。

(3) 理工学研究科 博士後期課程

●学費

(単位：円)

	他大学修士課程出身者	本学学部出身者	本学研究科の課程出身者
学費	入学金	200,000	150,000
	前期授業料	235,500	235,500
	前期施設費	140,000	105,000
	実験実習料	71,800	71,800
	小計(入学時納入金)	647,300	562,300
	後期授業料	235,500	235,500
	後期施設費	140,000	105,000
	後期実験実習料	71,800	71,800
	小計(後期納入金)	447,300	412,300
合計(初年度納入金)	1,094,600	974,600	824,600

●諸会費

(単位：円)

	他大学修士課程出身者	本学学部出身者	本学研究科の課程出身者
諸会費	学会入会金	2,000	—
	学会費	3,000	3,000
	院生会費	1,000	1,000
	親和会入会金	3,000	—
	親和会費	7,000	7,000
	校友会予納金	10,000	—
合計(入学時納入金)	26,000	11,000	11,000

- 注1. 諸会費は、学会、院生会、親和会、校友会からの委託徴収金です。後期納入金はありません。
 2. 本学出身者のうち理工学部・理工学研究科出身者以外の入学生は学会入会金2,000円を必要とします。
 3. 校友会費(30,000円)は他大学出身者のみ博士後期課程3年次に納入していただきます。

●納入金総額

(単位：円)

	他大学修士課程出身者	本学学部出身者	本学研究科の課程出身者
入学時納入金合計	673,300	573,300	423,300
後期納入金合計	447,300	412,300	412,300
総計(初年度納入金)	1,120,600	985,600	835,600

後期納入金は、9月末日を納入期限としています。納入用紙は、9月上旬に経理課から郵送いたします。

(4) 農学研究科 博士後期課程

●学費

(単位：円)

		他大学修士課程出身者	本学学部出身者	本学研究科の課程出身者
学 費	入 学 金	200,000	150,000	—
	前 期 授 業 料	235,500	235,500	235,500
	前 期 施 設 費	160,000	120,000	120,000
	実 験 実 習 料	81,800	81,800	81,800
	小計(入学時納入金)	677,300	587,300	437,300
	後 期 授 業 料	235,500	235,500	235,500
	後 期 施 設 費	160,000	120,000	120,000
	後 期 実 験 実 習 料	81,800	81,800	81,800
	小計(後期納入金)	477,300	437,300	437,300
合計(初年度納入金)	1,154,600	1,024,600	874,600	

●諸会費

(単位：円)

		他大学修士課程出身者	本学学部出身者	本学研究科の課程出身者
諸 会 費	学 会 入 会 金	2,000	—	—
	学 会 費	3,000	3,000	3,000
	院 生 会 費	1,000	1,000	1,000
	親 和 会 入 会 金	3,000	—	—
	親 和 会 費	7,000	7,000	7,000
	校 友 会 予 納 金	10,000	—	—
合計(入学時納入金)	26,000	11,000	11,000	

注1. 諸会費は、学会、院生会、親和会、校友会からの委託徴収金です。後期納入金はありません。

2. 本学出身者のうち農学部・農学研究科出身者以外の入学生は学会入会金2,000円を必要とします。

3. 校友会費(30,000円)は他大学出身者のみ博士後期課程3年次に納入していただきます。

●納入金総額

(単位：円)

	他大学修士課程出身者	本学学部出身者	本学研究科の課程出身者
入学時納入金合計	703,300	598,300	448,300
後期納入金合計	477,300	437,300	437,300
総計(初年度納入金)	1,180,600	1,035,600	885,600

後期納入金は、9月末日を納入期限としています。納入用紙は、9月上旬に経理課から郵送いたします。

2. 特別留学生

(単位：円)

許 可 料	10,000
科 目 等 履 修 料 注1・2	320,000
合 計 (入 学 時 納 入 金)	330,000

注1. 科目等履修料は、1単位につき10,000円です。

2. 科目等履修料は、年間履修単位数を32単位として算出しています。

奨学金制度について

本学の正規留学生（学部・短期大学部・大学院）を対象とした「龍谷大学外国人（留学生）学費援助奨学金」ならびに各種民間団体の奨学金について案内します。

1. 「龍谷大学外国人（留学生）学費援助奨学金」について

龍谷大学では、外国人留学生の経済的困難を緩和するためにこの制度を設けております。

(1)奨学金額（減免方式）

授業料の40%を減免します。適用希望申請者が入学試験に合格した場合、入学手続きに必要な納入金額は、学費援助奨学生として採用された減免後の学費とします。

(2)対象となる資格

次の①～③の全ての資格を満たしている者がこの制度を利用できます。

- ①本学の学部、大学院、または短期大学部における正規課程に在学していること
- ②在留資格が「留学」であること（もしくは「留学」に変更手続を行うこと）
- ③私費外国人留学生であること

(3)申請方法

- ①出願時に外国人留学生入学試験出願シート「A票」の「龍谷大学外国人（留学生）学費援助奨学金」適用申請欄にマークする。
- ②入学後、必要な書類を提出する（合格通知の際に詳しく記載します）。

(4)採用の決定

正しく申請されているか確認の上、入学後に本学奨学委員会の議を経て、学長が決定します。

(5)注意事項

申請にあたっては、次のことに同意していることを前提とします。

- ①申請に虚偽がある場合や正しく申請していない場合、入学後に受給資格を喪失した場合には、同奨学金の減免制度の適用が取り消され、不足分の学費（授業料40%）を追加納入いただきます。
- ②入学後、次のいずれかに該当する場合、受給資格を喪失します。
 - 1. 出席日数等を勘案し、学業成績が不振で成業の見込みがないと認められる者
 - 2. 入学金、授業料等の負担を除き、仕送り平均月額が90,000円を超える者
 - 3. 留年している者（ただし、病気等やむを得ない事情と奨学委員会が判断した者を除く。）
 - 4. 休学している者

2. 奨学金制度（2017年度実績）

奨学金名称		支給額	採用人数	
龍谷大学	外国人（留学生）特別奨学金	研究科（月額） 48,000円	17名	
		学部（月額） 48,000円	36名	
		別科（月額） 22,500円	18名	
龍谷大学	沼田奨学金（学業奨学金）	研究科（月額） 100,000円	8名（研究生2名含む）	
		学部（月額） 80,000円	1名	
JASSO	(独)日本学生支援機構 私費外国人留学生学習奨励費	研究科（月額） 48,000円	1名	
		学部（月額） 48,000円	5名	
		別科（月額） 48,000円	0名	
その他	(公財)加藤朝雄国際奨学財団奨学金（大学院生のみ）	博士課程（月額） 150,000円	新規	継続
		修士課程（月額） 130,000円	0名	0名
	(公財)平和中島財団 外国人留学生奨学生	研究科（月額） 100,000円	0名	0名
		学部（月額） 100,000円	1名	0名
	(公財)日本国際教育支援協会 三菱商事留学生奨学金	研究科（月額） 150,000円	1名	0名
		学部（月額） 100,000円	0名	0名
	(公財)ロータリー米山記念奨学会	研究科（月額） 140,000円	0名	0名
		学部（月額） 100,000円	0名	1名
	(公財)朝鮮奨学会	博士課程（月額） 70,000円	0名	0名
		修士課程（月額） 40,000円	0名	0名
		学部（月額） 25,000円	5名	4名
	外国人留学生びわこ奨学金	研究科（月額） 20,000円	1名	0名
		学部（月額） 20,000円	0名	0名
橋本循記念奨学金	学部（月額） 100,000円	0名	0名	
	研究科（月額） 100,000円	0名	1名	
(公財)京都市国際交流協会張鳳俊奨学金	研究科（月額） 50,000円	1名	0名	
JEES奨学金・一般奨学金	研究科（月額） 30,000円	0名	0名	
	学部（月額） 30,000円	0名	0名	

お問い合わせ先一覧

〈留学生入試全般・入国管理局への龍谷大学代理申請に関するお問い合わせ〉

龍谷大学 グローバル教育推進センター事務部 〒612-8577 (専用郵便番号/住所表記不要)

TEL : 075(645)7898 FAX : 075(645)2020 E-MAIL : r-globe@ad.ryukoku.ac.jp

〈在留資格・その他の各学部・大学院へのお問い合わせ〉

文学部・研究科・実践真宗学研究科	TEL 075(343)3317	月曜日・水～金曜日 8:45～11:30 12:30～17:15 火曜日 10:30～11:30 12:30～17:15
経済学部・研究科	TEL 075(645)7894	
経営学部・研究科	TEL 075(645)7895	
法学部・研究科	TEL 075(645)7896	
政策学部・研究科	TEL 075(645)2285	
国際学部・研究科	TEL 075(645)5645	
短期大学部	TEL 075(645)7897	
理工学部・研究科	TEL 077(543)7730	月曜日・水～金曜日 9:00～11:45 12:45～17:30 火曜日 10:45～11:45 12:45～17:30
社会学部・研究科	TEL 077(543)7760	
農学部・研究科	TEL 077(599)5601	

〈「日本語能力試験 (JLPT)」に関するお問い合わせ〉

公益財団法人日本国際教育支援協会 日本語能力試験 (日本国内) 受付センター

TEL : 03(6686)2974

〈「日本留学試験 (EJU)」に関するお問い合わせ〉

●成績照会に関するお問い合わせ

日本留学試験受付センター

TEL : 0570(55)0585

●その他お問い合わせ

独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部留学試験課

TEL : 03(6407)7457 <http://www.jasso.go.jp/eju/>

